

自己治癒力を触発する
ホメオパシーを学ぶとは
すべての命を救うこと

CHhomの目指すもの

CHhomは、人々がホメオパシーを通して、自らの力で健康になり、本来の自分自身を生きられるように導くプロフェッショナルホメオパスを育成、輩出し、社会に貢献していくことを目指しています。

プロフェッショナルホメオパスになりたい方へ

この学校は本気で人間を学ぶ学校でありプロフェッショナルホメオパスの精鋭を育成する学校です。またホメオパシーを日本に普及するために努力を惜しまず協力できる方を募集します。

目次

002	……	CHhomの目指すもの
004	……	教育理念
005	……	沿革
006	……	学長挨拶
009	……	CHhomで学ぶということ
014	……	CHhomの特長
018	……	各コースのご案内
024	……	取得可能な資格
025	……	年間スケジュール
026	……	講師の紹介
030	……	各校のご案内
035	……	CHhom学生・卒業生の特典
036	……	CHhom一年次のイベント
038	……	卒業生の進路・就職状況
039	……	在校生・卒業生の声
048	……	Q & A
050	……	CHhomご入学までの流れ

教育理念

ホメオパスは自らの心を開いて、苦しんでいるクライアントに寄り添い、体・心・魂の三位一体でその人を治療に導く職業です。

そのためには、ホメオパス自身が自分を見つめ、傷ついたインナーチャイルドを癒し、間違ったこだわりや価値観を手放し、自らの靈性を向上させていくことが必要になります。そうすることで初めてクライアントの苦しみに共感できるからです。人を癒すためにはまず自分を癒すことが大切なのです。

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー(CHom)ではホメオパシーの学びだけでなく、由井学長とともに学生一人一人が、自身自身の心に問いかけ自分を癒して行く体験と気づきを分か

ち合うインナーチャイルド癒しの学びや、それぞれの人生をより良く生きるための靈性の向上の学びが盛り込まれております。このような学びは他の学校にはないCHom独自のものとなります。

CHomの教科書は、ホメオパシー創始者であるサミュエル・ハーネマンの著書『医師のオルガノン第六版』、『慢性病論 第2版』、『マテリア・メディカ』などでホメオパシーの基礎原理を学びます。これらは由井学長監修の下、複数名の翻訳者達によって古典ドイツ語から直接日本語へと忠実に翻訳されたものです。ハーネマンの遺したホメオパシー哲学の書を正しく日本語で読むことができるのもこの学校の誇れる点の一つです。『マテリア・メディカ』の授業では、レメディーの原材料となる植物、動物、鉱物などの特徴や性質、さらにそれらの靈的本質について学びます。また、そのレメディーを使って

心身の症状が改善されたケースの紹介や演習を行うことで、より実践的に学ぶことができます。

原理を基本とする『オルガノン講読』の授業では、書籍『医師のオルガノン』を由井学長による解説を交えながらハーネマンの考え方や実践の変遷が読み解きます。(テキストは第1版から6版までのどの時代に書かれたのが分かるようになっています。)パラグラフ(段落)毎にハーネマンの考えを当時の歴史的背景も考慮しながら解説して行きます。『慢性病論』の授業では、先祖から現代へと受け継がれた病気のかかる傾向であり、慢性病の大元である「慢性マヤズム」について学び、ホメオパシーでの「マヤズム治療」を教えます。

現代には予防接種や薬などから来る「医原病」、食事から来る「食原病」、環境から来る「環境病」、インナーチャイルドや間違った価値観から来る「自

己卑下病」「罪悪感病」など様々な難病が蔓延しています。これらの現代病への対処として、由井学長が考案したホメオパシーのメソッド「三次元処方」を学ぶだけでなく、食養生の知恵やインナーチャイルド癒しと靈性を向上するための学びを加えた由井学長の「ZENホメオパシー」を勉強していきます。

多くの授業の中で由井学長のケーステイクを学ぶ機会があり、そこでクライアントをどのようにに観察し、質問し、言葉のレメディーをかけるのか、そしてクライアントに必要なレメディーをどのように選択していくのかがとてもよく分かる生きた学びが得られます。CHomではホメオパシーの理論と実践を学びながら、ホメオパスに必要な技術や感性を養うだけでなく、魂のホメオパスにとって最も必要な心のあり方や靈性の向上を4年間で身につけて行くのです。

沿革

日本で初めてのホメオパシー専門校であり、多くのプロフェッショナルホメオパスを輩出している、歴史と実績を兼ね備えたホメオパシーの名門校です。

プロフェッショナルコース
 在学学生 170名
 RAH・Chhom卒業生 1150名

日本初のホメオパシー専門校
 ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) として設立。二十年におよぶ歴史と実績をもち、十四年目(二〇一〇年五月)にホメオパシー統合医療専門校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (Chhom) として新たに出版。

一九九七年	四月	ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) 東京校 (パートタイムコース三年制) 開校	二〇〇七年	四月	RAH 名古屋校開校
一九九八年	四月	日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) が設立し、RAH が認定校となる	二〇〇七年	八月	RAH 仙台、鹿児島、金沢分校開校
一九九九年	四月	英国ホメオパシー医学協会 (HMA) 認定校となる	二〇〇八年	四月	RAH 沖繩校開校
二〇〇〇年	三月	RAH 一期生卒業 英国よりHMA 試験官を招き、第一回HMA 認定試験を在日英国大使館で実施。RAH 卒業生から初のHMA 認定ホメオパス誕生	二〇〇八年	六月	日本ホメオパシー財団設立
二〇〇二年	四月	RAH パートタイムコースが四年制に移行 RAH 福岡校開校	二〇〇九年	十一月	より統合的に人間を治療に導くために、ホメオパシーが中心だったRAH からインナーチャイルド癒し、霊性の向上も含めたホメオパシー統合医療専門校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (Chhom) 東京、札幌、名古屋、京都、大阪、福岡、沖繩校同時開校
二〇〇三年	四月	RAH TV 同時中継システムを使った講義を取り入れる	二〇一〇年	五月	Chhom ファミリーホメオパス養成コース開講
二〇〇四年	四月	RAH 大阪校開校	二〇一一年	五月	プロフェッショナル及びファミリーホメオパス養成コース、RAH 卒業生フォローアップコースのeラーニング配信が始まる。また、eラーニング配信に伴い、東京校、札幌校、名古屋校、大阪校、福岡校のみに集約
二〇〇四年	十月	RAH が英国認定ホメオパス連合 (ARH) 受験資格認定校となる	二〇一一年	七月	Chhom ファミリーホメオパス養成コース1期生卒業。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定ファミリーホメオパス・ホームキットアドバイザー誕生
二〇〇五年	一月	RAH が英国全ホメオパス統合協会 (CORH) 容認校となる	二〇一二年	十月	Chhom インナーチャイルドセラピスト養成コース開講
二〇〇五年	五月	RAH アニマルホメオパス養成コース開講	二〇一二年	六月	ZENホメオパシーの認定がスタート
二〇〇六年	五月	英国教育技能省 (DfES) にRAH 英国本校が認められる	二〇一三年	十一月	インナーチャイルドセラピスト養成コースeラーニング配信が始まる。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定インナーチャイルドセラピスト誕生
二〇〇六年	五月	JPHMA がホメオパシー国際評議会 (ICH) のメンバーとなり、ホメオパスの職業保険運用によりJPHMA ホメオパス認定制度が実現。RAH 卒業生からJPHMA 認定ホメオパスが誕生	二〇一四年	三月	Chhom プロフェッショナルホメオパス養成コース 1期生卒業
二〇〇六年	九月	RAH 英国本校開校 RAH 英国フルタイムコース・日本フルタイムコース・イブニングコース開講 RAH 札幌校、京都校開校			

学長挨拶

治療家は

人の命を扱う仕事であるがゆえに
愛なくては行えない



由井寅子 ゆいとらこ

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー
CHom 学長
一般財団法人 日本ホメオパシー財団
日本ホメオパシー医学協会 JPHMA 会長

自己治療力を使い、 自ら治るホメオパ シー

私は自身の辛い潰瘍性大腸炎がホメオパシー治療によって治療した体験があります。ホメオパシー治療の根幹であるレメデー（原物質を希釈振盪して作られる）の刺激によって自己治療力が触発され、急性症状（高熱と体の痛み）を出して潰瘍性大腸炎は治癒していったのです。この高熱と体の痛みは26歳の時のインフルエンザの急性症状で、薬で抑圧したために未解決となっていたものです。同時に当時抑圧していた怒りや悲しみの感情もどつと出てきて辛かったですが、怒って泣いてを繰り返すなかで心が軽くなったのを実感しました。体だけでなく心が生き生きとしてきたのです。

この体験は私を大きく変えました。体の症状も心の症状（感情）も未解決なものは浮上しなければ、流して浄化することもできません。ホメオパシーは自己治療力を刺激し、未解決な問題を浮上させ浄化し、自分本来の命を取り戻すための治療法であることを覚りました。

それから私は英国のホメオパシーの学校に五年間通い、認定ホメオパスとなりました。すぐに私一人では多くの患者さんに対応できなくなり、日本でホメオパシー療法の専門家（ホメオパス）を育てるためにCHomの前身であるロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー（RAH）を十三年間運営し、五〇〇名以上のホメオパスを輩出しました。そして2010年、ホメオパシーの限界を突破するために、ホメオパシー

の原点（ハーネマンの原典）に立ち返り、それを土台として現代の難病にも適応できるZENホメオパシーを教えるためにCHomを設立しました。

私が感じていたホメオパシーの限界とは、患者さんの病気が治っても再発して戻ってくることで、難病の患者さんが治療していかないということでした。その中でわかったことは、現在、世界中で行われているホメオパシー（クラシカルホメオパシーも）がハーネマンの教えをベースにしているということ、そして病気の治療には、霊性の教育やインナーチャイルド癒しの教育が必要不可欠であるということです。さらに、現代医学の病理学・生理学・解剖学にも力を入れる必要を感じました。

私は小さい頃に「頑張らない者はダメ」と親から常に教え込まれていたために、大人になってからその価値観で体がボロボロになるまで働き、体が辛い時も薬をとって頑張り、心が辛い時も弱音を吐かず頑張り、自分を大事にしてあげなかった結果、ついに潰瘍性大腸炎になったのです。私は潰瘍性大腸炎をホメオパシーで治していただいたことをきっかけに自分自身の生き方、考え方の間違いに気づき、心の問題の根源であるインナーチャイルド癒し(感情の解放と価値観の解放)に取り組みました。これまでに母に愛されたい一心で優秀になるうと頑張ってきたインチャに気づき、他者に母を投影し、怒り、悲しみ、恐れていたことに気づき、母への未解決な感情を一つ一つ解放していく作業をし

ました。母に何度も殺されたかけた私にとってこの作業は本当に辛く苦しいものでした。今も継続してやっている最中です。

感情を生じさせる大元は価値観です。私は「女はダメだ」「頑張らない者はダメだ」「貧乏はダメだ」などの母の価値観を生き、自分を貶める生き方をしています。ところが、自分自身を生き抜くために、母の価値観を解放していく作業をしました。こちら、一筋縄では行けませんでしたが、ダメな自分を認め、受け入れ、許し、愛することを繰り返しやっていくなかで、徐々に価値観を緩めることができました。

結局、感情が乱れる出来事、嫌な出来事、辛く苦しい出来事、それら出来事をしていくうちに、辛いもの、辛いもの、辛いものは、自分自身の心(インナーチャイルド)であり、自分自身の心を映す鏡として感情が乱れる出来事が生じるのだということがわかりました。人生(運命)そのものがホメオパシー治療(同種療法)だったので、辛く苦しい出来事は、ダメな自分を許すために必要な出来事であり、本来にありがたいものであると理解し、一つひとつ受け入れていくことをやっているうちに私の心に本当の平安が訪れたのです。この体験が、体と心と魂は繋がっていて、体の病気だけを治しても心の病気(インナーチャイルド)と魂の病気(この世的価値観)を癒さない限り、根本解決にはならないのだということを実感したのでした。

確かにホメオパシーは感情の解放を推し進め、ときに価値観の解放をも推し進めますが、残念ながらどちらも一時的なものにならないを得ません。なぜなら、大元のインナーチャイルドを見つけ意識的に繰り返し癒していかない限り、インナーチャイルドが癒されることはなく、インナーチャイルドが存在する以上、苦しみは付きまとうからです。しかし、インナーチャイルド癒しをするためのツールとしてホメオパシーを利用したならば、つまりホメオパシーを利用して意識的に感情の解放とこの世的価値観の解放を推し進めることができましたら、確実にインナーチャイルド癒しを加速させることができます。

また、私たちが食べた物から私たちの体は創られます。ですから、食べ物が悪ければ、それが直接的に体を病気にしてしまいますので、幾らホメオパシーのレメディーをとっても健康になることはありません。体の健康作りの基本は、よい

感情というものは思い通りにならない状況で生じる強い願いであり、ストレスです。インナーチャイルドという慢性のストレスの存在が急性のストレスを作り出しています。ストレス時は交感神経優位になって筋肉が硬直し血の流れが悪くなります。エネルギー生産がミトコンドリア系から解糖系に移り、著しく非効率になり、その結果ミネラルを無駄に使い果たすことになり、このように、ストレスが体の病気を作り出しています。体の症状を薬で抑圧することで医原病が生じますが、感情を抑圧すること、心(インナーチャイルド)が形成さ

ることで心の慢性病(インナーチャイルド)が形成され、心の病気が体の病気を作るという構図があるので、感情を生じさせる大元は価値観です。私は「女はダメだ」「頑張らない者はダメだ」「貧乏はダメだ」などの母の価値観を生き、自分を貶める生き方をしています。ところが、自分自身を生き抜くために、母の価値観を解放していく作業をしました。こちら、一筋縄では行けませんでしたが、ダメな自分を認め、受け入れ、許し、愛することを繰り返しやっていくなかで、徐々に価値観を緩めることができました。

結局、感情が乱れる出来事、嫌な出来事、辛く苦しい出来事、それら出来事をしていくうちに、辛いもの、辛いもの、辛いものは、自分自身の心(インナーチャイルド)であり、自分自身の心を映す鏡として感情が乱れる出来事が生じるのだということがわかりました。人生(運命)そのものがホメオパシー治療(同種療法)だったので、辛く苦しい出来事は、ダメな自分を許すために必要な出来事であり、本来にありがたいものであると理解し、一つひとつ受け入れていくことをやっているうちに私の心に本当の平安が訪れたのです。この体験が、体と心と魂は繋がっていて、体の病気だけを治しても心の病気(インナーチャイルド)と魂の病気(この世的価値観)を癒さない限り、根本解決にはならないのだということを実感したのでした。

確かにホメオパシーは感情の解放を推し進め、ときに価値観の解放をも推し進めますが、残念ながらどちらも一時的なものにならないを得ません。なぜなら、大元のインナーチャイルドを見つけ意識的に繰り返し癒していかない限り、インナーチャイルドが癒されることはなく、インナーチャイルドが存在する以上、苦しみは付きまとうからです。しかし、インナーチャイルド癒しをするためのツールとしてホメオパシーを利用したならば、つまりホメオパシーを利用して意識的に感情の解放とこの世的価値観の解放を推し進めることができましたら、確実にインナーチャイルド癒しを加速させることができます。

また、私たちが食べた物から私たちの体は創られます。ですから、食べ物が悪ければ、それが直接的に体を病気にしてしまいますので、幾らホメオパシーのレメディーをとっても健康になることはありません。体の健康作りの基本は、よい

感情というものは思い通りにならない状況で生じる強い願いであり、ストレスです。インナーチャイルドという慢性のストレスの存在が急性のストレスを作り出しています。ストレス時は交感神経優位になって筋肉が硬直し血の流れが悪くなります。エネルギー生産がミトコンドリア系から解糖系に移り、著しく非効率になり、その結果ミネラルを無駄に使い果たすことになり、このように、ストレスが体の病気を作り出しています。体の症状を薬で抑圧することで医原病が生じますが、感情を抑圧すること、心(インナーチャイルド)が形成さ

ることで心の慢性病(インナーチャイルド)が形成され、心の病気が体の病気を作るという構図があるので、感情を生じさせる大元は価値観です。私は「女はダメだ」「頑張らない者はダメだ」「貧乏はダメだ」などの母の価値観を生き、自分を貶める生き方をしています。ところが、自分自身を生き抜くために、母の価値観を解放していく作業をしました。こちら、一筋縄では行けませんでしたが、ダメな自分を認め、受け入れ、許し、愛することを繰り返しやっていくなかで、徐々に価値観を緩めることができました。

結局、感情が乱れる出来事、嫌な出来事、辛く苦しい出来事、それら出来事をしていくうちに、辛いもの、辛いもの、辛いものは、自分自身の心(インナーチャイルド)であり、自分自身の心を映す鏡として感情が乱れる出来事が生じるのだということがわかりました。人生(運命)そのものがホメオパシー治療(同種療法)だったので、辛く苦しい出来事は、ダメな自分を許すために必要な出来事であり、本来にありがたいものであると理解し、一つひとつ受け入れていくことをやっているうちに私の心に本当の平安が訪れたのです。この体験が、体と心と魂は繋がっていて、体の病気だけを治しても心の病気(インナーチャイルド)と魂の病気(この世的価値観)を癒さない限り、根本解決にはならないのだということを実感したのでした。

確かにホメオパシーは感情の解放を推し進め、ときに価値観の解放をも推し進めますが、残念ながらどちらも一時的なものにならないを得ません。なぜなら、大元のインナーチャイルドを見つけ意識的に繰り返し癒していかない限り、インナーチャイルドが癒されることはなく、インナーチャイルドが存在する以上、苦しみは付きまとうからです。しかし、インナーチャイルド癒しをするためのツールとしてホメオパシーを利用したならば、つまりホメオパシーを利用して意識的に感情の解放とこの世的価値観の解放を推し進めることができましたら、確実にインナーチャイルド癒しを加速させることができます。

食事です。そしてそれは、自然な種と自然な土、農薬や化学肥料を使わない自然な農業でできた自然な作物からもたらされると信じています。よい食事をするという土台があつて初めてレ

方法も取り入れ、体と心、そして魂の病気まで癒せるホメオパスを育てることを目指した学校を新たに作ることを決意しました。それが **CHom**、ホメオパシー統合医療専門校です。

か、なぜ悲しく死にたくないのかを自分に問いかけるのです。原因は外にはありません。怒って泣いている自分に声をかけ、慰め、そしてその価値観は正しいのかを考え、そしてダメな自分でも許すことで、私たちは愛ある人間になれるのです。そして人生を幸せに生きられるようになります。

るかという部分で、宗教ではなく、信仰心は大切だと思っています。信仰心は自分より偉大な存在（神や仏）がいることを信じ、生かされて理を知り、謙虚に感謝をもって生きる源だと思えます。自然の偉大さ、太陽の偉大さを感じられないとしたら、それは私たち自身も持っている大切なものを見失つてしまつていくということなのです。私は私たちの中に偉大な存在と同じ、高邁な理想をもつた魂が宿つていると信じています。

の世的価値観を解放し、生き方、考え方を正し、信仰心を高め、ひいては靈性を高め、魂・心・体を一体として統合的に治癒に導いてゆくことのできる大きな器のホメオパスになられることを心から願つております。

メディーの効果は上がるのです。現代人は予防接種や薬、農薬や化学肥料漬けの作物、遺伝子組換えや雄性不稔種から作られる不自然な作物、化学調味料、人工甘味料などの食品添加物など不自然なものが大量に体内に入り、またそれら食品のミネラル不足によって体の病気になつている人が多いのではないかと考えるようになってきました。

病気が一番の大元は自分自身を愛せないことです。患者は意識的、無意識的に自分をダメだと責めるインナーチャイルドがいるから病気になつたのですから、治癒するためにはダメな自分を受け入れなければなりません。患者がダメな自分を受け入れられるようになるためには、治療家の無条件の愛が何よりも必要なのです。愛が治療家の土台です。その土台の上にホメオ

また、魂の健康を取り戻すために不自然な価値観（この世的価値観）の解放が重要であることはすでに述べた通りですが、自然な価値観（靈的価値観）、何を信じ

を見ているということなのです。自分本来の命を生きる上で信仰心はとても大切であると考えています。

ホメオパス自身のインナーチャイルドを癒し、こ

このようにして「人間は体・心・魂の三位一体である」ということを念頭に、ホメオパシーを中心とし、インナーチャイルド癒しや食事療法、ハーブ療法など他の

願つております。感情が乱れる毎に、なぜ腹が立つの

観（靈的価値観）、何を信じ

ホメオパス自身のインナーチャイルドを癒し、こ

CHhomで学ぶようへん

現代におけるさまざまな難病にも対応できるZEN
ホメオパシーを学び、総合医療家を目指す。

治療家になるために必要なことは何でしょうか？

CHhom事務局（以下事務局）… どのような治療家においても最も大切なことは、自分を見つめ、自分を癒せたかどうかです。自分の中にいる愛されず傷ついたインナーチャイルドを認め受け入れ愛することが自分を癒すこととであり、自分を癒せた者だけが人を認め受け入れ愛することができ、それが人を癒す治療家の資質であると考えます。ですからCHhomでは、折々に自分を見つめる機会を設け、インナーチャイルド癒しの授業も取り入れていきます。

今、なぜホメオパシー統合医療専門学校CHhomなのか？

事務局… 難病の多い現代日本の状況に対応できる、精鋭のホメオパスを輩出するために

は、よりホメオパシーの専門性の高い人材を育てる必要があります。また、体、心、魂の病気をさまざまな角度から治療に導いていくためには、ホメオパシーに加えて、魂を傷つけるこの世的価値観を解放するインナーチャイルド癒しなども統合して、人間を物質的な体だけでなく目に見えない心をどう癒すか体系的に学ぶことが重要になります。

ホメオパシーおよびホリスティックの授業内容をさらに充実し、より深く学べるようにした、名実ともに本格的なホメオパシーの統合医療校がCHhomなのです。これは世界に類のない現代人に合わせた「オンリーワンの特長」が数多くあります。

CHhomの「オンリーワンの特長」とは何ですか？そして、ZENホメオパシーとは何でしょうか？

事務局… 数多くありますので、そのうち、いくつか代表的なものをご紹介します。

①プロのホメオパスの正式な資格。現代の難病（医原病、食原病、インナーチャイルド、そして信念の病气）を治療に導く世界最先端のZENホメオパシメソッドを習得します。そして試験に合格すれば、一般財団法人日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）の認定ホメオパスの資格が取得できます。

②ホメオパシーを、現代西洋医学と同じ国の第一医学として推進する世界最大のホメオパシー大国・インド政府AYUSH（伝統医学省）のホメオパシー部門との協力関係の下、ホメオパシー医学を推進しています。インド政府が

これまで蓄積したホメオパシーリサーチによるエビデンスの日本語訳共同事業として出版。今年で3回目となるCHhomインドスクーリングをはじめ様々な協力事業をインド政府と推進中です。

③JPHMAの認定ホメオパスになるとホメオパスの職業保険に加入。ホメオパシー

職業保険に入って、そのプロであると言えます。

④ホメオパシーの創始者であるハーネマンの基本原理をしっかり学ぶことができ学校。ハーネマンなくしてホメオパシーはありえません。CHhomでは、ハーネマン著作の原典（ドイツ語）から直接日本語訳した

ホメオパシー統合医療



■はオプションの授業となる予定です（オプションの授業は、必修授業には含まれず個人の選択受講で、別途有料となります）。※内容が変わることもあります。



テキストを用いて教えています。ハーネマンの文章が難しいところは、解釈を間違えないためにも一つひとつ解説していきます。

⑤ホメオパスとして実践と研究を積み重ねた講師陣。

Chomでは、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子学長をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできて

おり、がんなど様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コルコタのバナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ中央評議会長官で、皮膚疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKマンチャンド博士をはじめ、クラシカルのケン

ト派からハーネマンに戻るためにハーネマン研究者でもあるカナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアデイス氏などを招聘し、ハーネマンのホメオパシーを徹底して学びました。また、現代医学のアロパシー医であり、鍼灸師として、スピリチュアリ

ストとして活動するホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジェ・グランジョー氏からは霊的

ホメオパシーを学びました。そして、予防接種の問題を紐解くホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏の教えは多くの学生たちに衝撃を与えました。Chomは様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘し、ありとあらゆる問題にも対応できるホメオパシーを導入しました。

⑥として病気の原因が心の苦しみから来る。そこを徹底して網羅するために、そして、より日本人にホメオパシーが適応し効果上がるように、日本人の心の癖である罪悪感

や、自己卑下をする傾向を減らすことを目的としたインナーチャイルドの癒しを教育するコースを作りました。これはホメオパシーを三次元処方で使い病気を治しても心が怒りや悲しみ、恐れから逃れない場合、また同じ病気が戻ってくるのが分かりました。心の傷(インナーチャイルド)を治さねば病気は去る

ことがないことが多くのクライアントを通して分かるからです。ホメオパシーでは心の感情を修復できてもその感情を出させた価値観(信念)は治すことができないのです。そこは意図的に自分を見つめるその価値観で裁かれ泣いている自分(インチャ)に優しく声をかけ慰めてあげるまで癒えることはないのです。生きにくく思っている人、人間関係がうまくいかない人にとっ

てはインナーチャイルド癒しはよりよく幸せに生きるための必須となるでしょう。

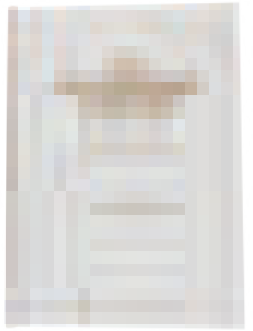
⑦として霊性を上げることが目的とした授業があります。病気の原因は神因から来ることもあるということです。私たちは生きているのではなく生かされていることを自覚し

「ハーネマンの原点に戻り、学んでいく…」とは、具体的にどのようなことでしょうか?

信仰心を高め、日々感謝と和をもつて生きるために自分に起きたその時は苦しいと思える出来事でも自分に必要があつてこの出来事が起きたのだと受け取れる哲学を身につけることです。そのためにこ

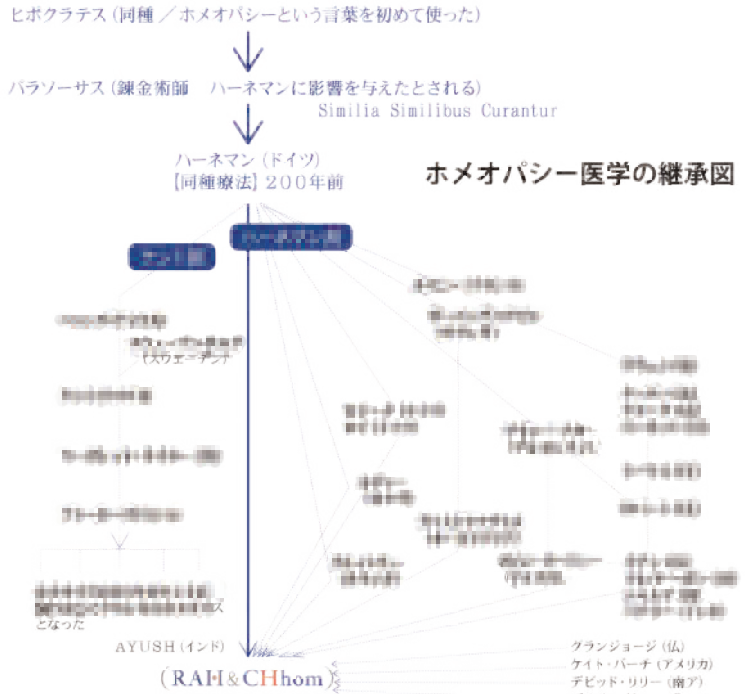
事務局..ホメオパシーは、二〇〇年前ドイツで、サミュエル・ハーネマンによつて体系化された現代医学とは別の医学です。ホメオパシーの原点はハーネマンにあり、ホメオパシーを学ぶということ

は、すなわちハーネマンに学ぶことです。Chomでは、真のホメオパシー医学を身につけるために、ホメオパシーの祖であるサミュエル・ハーネマンの原典から、「ハーネマンが真に何を伝えたかったのか」をしつかりと学びます。ハーネマン以降の二〇〇年間



右からCHhomの教科書
 ●ボニングハウゼン・レパートリー
 ●マテリア・メディカ・プーラ
 ●慢性病論 マテリア・メディカ
 サミュエル・ハーネマン 著
 慢性病論〈第二版〉
 医術のオルガノン〈第六版〉

ホメオパシー医学の継承図



を通して、ハーネマンの原典の誤った翻訳や、後世のホメオパスたちの誤った解釈を基にホメオパシーが広まってきました。そのためホメオパシー医学の発展が停滞し、現代のホメオパスの治療率低下の大きな一因となっていると考えられます。その意味から、ハーネマンの原典に立ち返り基礎を学ぶことがとても

大切なことなのです。例えば、合気道でも空手でも師範から基礎をしっかりと学ばなければ、ある段階でそれ以上の上達が望めなくなるのと同じです。正しい知識(基礎)を習得した者だけが応用することのできるのです。具体的には、ホメオパシーの基本原理が書かれた「医術のオルガノン第六版」、レメ

ディイの実証結果が書かれた「マテリア・メディカ・プーラ」、「慢性病のマテリア・メディカ」、これらのマテリア・メディカから忠実につくられたレパートリー(症状からレメディーを探るための書)である「ボニングハウゼンのレパートリー(TBR)」、そして慢性病を治すための指標となる慢性病論などをCHhomの教科書として使

に導いた方法、三次元処方です。CHhomはハーネマンを復興させ、真実のホメオパシーを学べる世界でも数少ない学校と言えるでしょう。
ホメオパスになるためになぜ、四年間学ぶ必要があるのですか？

さらに、ハーネマン研究では最先端を行くオランダのエワルト・ストットラー氏、カナダのルディ・バースパー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアディス氏との連携のもと、ホメオパシーの土台となるハーネマンの著作に基づき、基本原理、マテリア・メディカを忠実に、深く教えます。その上で日本にあった三次元処方完成了しました。それは、私が十年かけて、様々な方法をクライアントに施し、体験的に一番良く治癒

事務局.. セルフケアのための勉強であれば少ない時間でよいでしょうが、プロフェッショナルホメオパスの精鋭を輩出するためには、授業内容の充実が不可欠です。ホメオパシー医学は、現代医学とは症状へのアプローチが正反対の医学体系であるため、常識的な知識や価値観とは正反対の知識や価値観、さらに新しい言葉や概念を受け入れ学んでいく姿勢が大切です。そうしてハーネマンが真に何を伝えようとしていたのかを理解し、ホメオパシーの基本、考え方を時間をかけてしっかりと身につけることが大切で



す。またホメオパスは人の命を預かる職業ですから、自己の肉体的な成長なくしてクライアントをしつかり見ていくことはできません。クライアントの言動を偏見を持たずに見聞きし、事実をしつかり見極めること、さらには、己の心を鎮め、自己の感情に振り回されることなく、相手を受け入れていけるようになることがとても大切になります。このような人間の成長を果たし、学びが成熟されていくには時間が必要であり、ホメオパシー医学、さらに他の自然療法を学び、統合的に自

己治療力を触発し、治療に導けるホメオパスとなるように日々、切磋琢磨していくことが大切になります。

eラーニングによる自宅学習で学ぶことができる新コースを作ったのはなぜですか？

事務局.. 二〇一一年の日本の大震災からも推察できるように、地球規模での地震、天災等、不測の事態がいつ起こっても不思議ではない時代に突入しています。さまざまな方法をクライアントに試し体験的に一番良く治療に導いた方法、三次元処方です。そのような状況になってもホメオパシーを学びたい方が継続して学んでいけるようにホメオパシーの学校が存続しているように学ぶ環境を多様化し、学校で学ぶ以外に、インターネットで学べるeラーニング環境あるいは通信教育でテキストのみで学べる環境を作っていくように見直しを行うこととしました。

また、eラーニング環境を導入することにより、これまで学びたいが遠隔地のため学校に通うことができないという方々のご要望にも応えることができ、全国津々浦々の方々、海外の方々も学べることになりました。

入学試験、進級試験、卒業試験をなぜ行っているのですか？

事務局.. Chhomは、「ホメオパシーが西洋医学・アーユルヴェーダと並んで第一医学である」インドのホメオパシー大学のように、本気で本格的に学ぶ学校で、プロのホメオパスを育成しています。そのため、Chhomにおいては、まず、教える内容を充実させています。

次にプロのホメオパスとして活動していくためには、素養とホメオパシーに取り組む意欲、知識、実践が必要となってきます。そのためChhomでは、入学の時点で入学試験を行い、入学される方の適正等を確認させていただきます。その後、知識、実践を修得するために、自らの学びの強み、弱みを確認し、今後に反映していただくために試験を行っています。

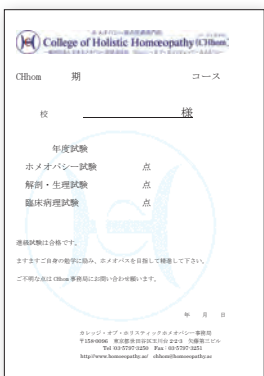
Chhomを卒業するなどのような資格がとれますか？

事務局.. Chhomを卒業するとプロのホメオパスの正式な資格を取得するために必要な、ICCH（ホメオパシー国際評議会）加盟の日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）の認定試験受験資格が得られます。

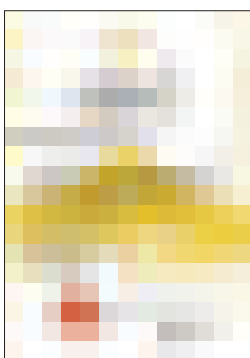
試験に合格すると新たな資格が付与されます。付与される資格は以下のとおりです。

- ・JPHMA認定ホメオパス（同種療法士）
- ・ホメオパシー統合医療アドバイザー
- ・ホメオパシックスーパー療法士
- ・フラワーエッセンス療法士

・JPHMA認定アニマルホメオパス（動物同種療法士）
 なお、新たな資格の取得にあたっては、現代医学の解剖・生理・病理、ホメオパシーの病理・生理、ホメオパシーをしっかりと身につけることが基本であり、資格取得の前提となります。



試験結果通知



JPHMAホメオパス認定証

卒業してホメオパスとして自立するためには何が大切ですか？

事務局…ホメオパスとして自立するためには、いくつかの大切なことがあります。

一、治療に導けるプロのホメオパスになることが大切です。

そのためにCHhomでは、事実・実践重視の教育を行い、治療に導ける実力のあるホメオパスを育成します。ちなみに、事実・実践重視の教育は授業にいろいろと組み込まれています。たとえば、三、四年次に授業以外にケーススタディー○○ケース相当以上を見ていただきます。ホメオパシーの実践にあたっては実際のケースを数多く見るのが大切であり、CHhomでは私（由井）を含めプロホメオパスの実践ケースを○○ケース相当以上から学

んでいただく機会を準備しています。

二、ひとりひとりがホメオパスとしての資質を養うことが大切です。

ホメオパスは、自己の人間的な成長なくして、クライアントの方々をしつかり見ていくことはできません。自分と異なる意見や見識に出会っても相手を受け入れる姿勢あるいは訓練も必要となります。そして、人は誰しも、インナーチャイルドを抱えているというのを理解することです。インナーチャイルドは、人とのコミュニケーション、人間関係、自分の見方、人の見方や自己実現、病気など社会生活を営む上で、大きな影響があります。またインナーチャイルドが癒えていないと人生の数々の障害、困難を乗り越えて行くことが困難になるだけでなく、自己成長ができずにとどまってしまう。したがって、インナーチャイルドの癒しを自発的に行ってい

くことは大切なことです。「すべての原因は外になく内にあります。」ゆえに自分を見つめること（内観）も大事なのです。なお、CHhomでは、授業の中でもインナーチャイルドを扱い、実習なども行っています。

三、ホメオパスとして自立される方は、忍耐を持ち、一生をかけてホメオパシーを学んでゆくという心構えが大事です。その意味からも、卒業後も学び続けることが大切です。

CHhomではハーネマンの原典を徹底的に教えています。学生だけでなく、卒業したホメオパスも学べるしくみになっており、授業の聴講およびホメオパス向けの強化学習も行っています。卒業後もレメディー選択の根幹となるハーネマンの哲学、方法論を学び続け、また新しいメソッドも取り入れることにより、実際の健康相談においてクラ

イアントの治療率が向上しています。

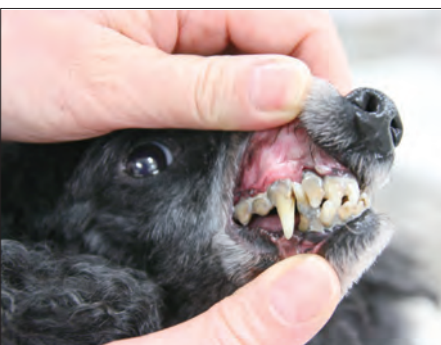
CHhomは、事実、臨床、成果重視の学校であり、アカデミックで開かれた学風、指導方針をとっています。



卒業後の強化学習



ホメオパシー健康相談会



動物コース生ケーステイク

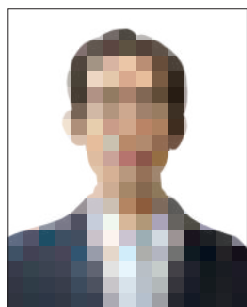
Chhomの特長

Chhomはホリスティックにホメオパシーが学べるカリキュラムで、欧米のスタンダードコースの約2.5倍の授業時間数を学ぶこととなります

日本の医療費が三十四兆円を超え、三人に一人が一生生涯でガンに罹患する時代に突入した我が国に何が今こそ必要かといえば、自らの力で病気を乗り越えることだと思えます。由井学長は、以前から「人を治療に導くためには、自己治療力が触発されなければならぬ。それには、ホメオパシーの学校が必要になる」と言っておられ、私は、その言葉に感銘し、現在、Chhomにて教育を推進しています。私たちは、ホメオパシーが、まだ国から認められていない折、授業料を収入として、独自に学校を開き、運営してきました。

Chhomでは、自己治療力を触発して自ら治るとい

うホメオパシーと日本古来にあった薬草やハーブなどの自然療法を復興し教え、日本にホメオパシーを普及する人材・プロフェッショナルホメオパスを育成しております。もし、私達の活動に賛同していただけるようでしたら、学校を認定している日本ホメオパシー財団にぜひ寄付していただき、日本にホメオパシーを広げていくためにご協力願います。



Chhom事務局長
JPHMA認定ホメオパス№245
菅野幸一

ハーネマンのホメオパシー哲学、基本原理を学ぶ

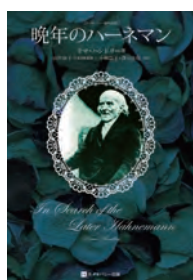
Chhomでは、歴史的に見てタイラー・ケントからホメオパシーを学ぶ継承の流れをハーネマンから直接学ぶ流れに軌道修正しています。ホメオパシー哲学、原理の授業では「ハーネマンが真に何を言いたかったか」を徹底的に学ぶホメオパシーの基礎を身につけていただきます。柔道でも踊りでも基礎をしっかりとしないとプロにはなれません。基礎ができて初めて、ホメオパシーを実践、応用することができます。



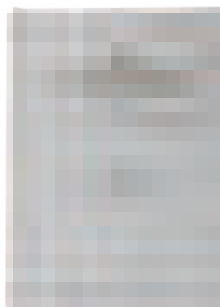
ホメオパシーの創始者
サミュエル・ハーネマン

ハーネマンのマテリア・メディカを学ぶ

ドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した教科書（オルガノン、慢性病論、MM等）より、ホメオパスとしての力量を左右する正確、精緻な情報に基づくレメディー選択手法を学びます。



リマ・ハンドリー著
『晩年のハーネマン』
ホメオパシー出版刊



右から
Chhom編
TBR改訂クロスリファレンス拡張版
由井黄子編
TBRマテリア・メディカ+
サミュエル・ハーネマン著
慢性病論（第二版）
医術のオルガノン（第六版）



ケーステイクの仕方とその分析を学ぶ

ケース研究・分析により、クライアントへの対応方法、レメディイの選択など、事実、実践を見て体感・体験します。

※CHom直轄のホメオパシーセンター本部（五箇所）にてホメオパシー健康相談会を行っております。三年次、四年次には、由井学長や他のプロフェッショナルホメオパスの健康相談時に横についてケーススタディを行い、

一〇〇ケース相当以上の症例を体験することが必修となります。四年次には、ご自身でクライアントを選択し、五例の改善ケースを提出する必要があります。なお、四年間の在学中には、インナーチャイルドを癒すためにも自らもホメオパスにかかることをお勧めしています。

マヤズム病理を学ぶ

ホメオパシー的な観点での病気の考え方、マヤズムに関して、しっかりと学びます。

※マヤズムは病気を作り出す土壌であり、全ての深い病気は最終的にはこのマヤズムから芽を出しているという考えがあります。



ジョアン・ゴットフリート・ラデマツチャー

症状からみる臓器の疾患を学ぶ

ドイツの医師、臓器療法を発案したラデマツチャーが確立したマザーチンクチャーを学びます。また、マザーチンクチャーの実践的な使い方を学びます。

植物の生長するエネルギーが凝縮されたマザーチンク



チャーは、弱った臓器、傷ついた臓器の新陳代謝を促し、人体の健康に有用であると言われています。

ホメオパシー病理・生理を学ぶ

現代医学の病理生理を学んだ上で、ホメオパシー的な観点での病理生理のとらえ方も学びます。また、ホメオパシーと現代医学の考え方の違いを学びます。

医原病へのホメオパシー的対処を学ぶ

日本人はヨーロッパ人の四〇倍の抗生物質をとっていると言われていました。多くの薬をとり入れている日本人の現状に即し、医原病に対応したホメオパシーメソッドを学びます。

病理・生理
アレルギーのしくみ





現代の難病治療としてのZENメソッドを学ぶ

国際的な学会でもセンセーションを巻き起こした由井学長のZENメソッドを学びます。ZENメソッドとは、由井学長の開発したメソッドであり、医原病大国である日本国民に合ったアプローチです。ZENメソッドにより、多くの難病である自閉や奇形を治療に導いています。



ホメオパスになるべく心の取り組みの実践「インナーチャイルド」の癒し

ホメオパスになるべく心の取り組みを行っていくために、通常の授業の他にインナーチャイルドを見ていきます。心の教育や終末ケアのための死の教育などの授業により、自分のこだわりや気づく訓練を行っていきます。



由井学長によるインナーチャイルドの授業より「触れる」

現代医学（解剖生理・病理）を学ぶ

現代医学の基礎をしっかりと身につけます。

解剖生理（人体の成り立ちと生理的動態）の他に、臨床病理（人体と病のメカニズムや症状）、救急医学（緊急性のある症状）を学び、人体構造、病気の進行を理解します。特に現代医学、解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となります。



酒向猛先生による現代医学・臨床病理の講義



小谷宗司先生による日本の薬草学の講義

植物学・毒物学・薬草学を学ぶ

植物学・毒物学・薬草学も重要な学問です。特に薬草は、人体の健康維持に効果的に用いることのできる療法として重要です。Chomではヨーロッパやアメリカに伝わる伝統的な薬草学を学ぶとともに、さらに日本古来の薬草学を小谷宗司先生から学びます。

ホメオパシー自然農法、 薬草、ハーブ見学と生育

北海道・洞爺や熱

海・函南の自然農園にてホメオパシー自然農法で育った生命力に満ちた薬草・ハーブの生育やその環境を見学し、実体験します。

・二〇一八年五月

静岡県函南 春の花摘みツアー



・二〇一八年十月

静岡県函南 秋の収穫祭



・二〇一八年八月

北海道洞爺

農業基礎、実践授業、
自然農体験ツアー



生命組織塩 栄養学を 学ぶ

ウィルヘルム・シュスラー



ドイツ人医師ホメオパス、ウィルヘルム・シュスラーが発案した生命組織塩（ティツシュソルト）について学びます。シュスラーは、病気は十二種類の生命組織塩のいずれかの過不足によって生じ、生命組織塩のレメディーをとることで、身体本来の機能である不足ミネラルの吸収や過剰ミネラルの排出が促進され、崩れたミネラルバランスが整えられることで健康になることができると考えました。

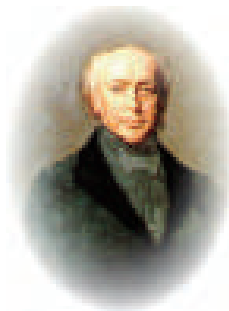
歴代のホメオパシーの 先人達の知識、知恵から学ぶ

ハーネマンからホメオパシー原理を、ボーニングハウゼンからレパートリーを、バーネットからワクチン病を、パラソーサスから錬金術を、ラデマツチャーから臓器療法を、シュスラーから生命組織塩を、トムソンから薬草を、先人たちの知識、知恵から治す方法を学びます。

パラソーサス



ボーニングハウゼン



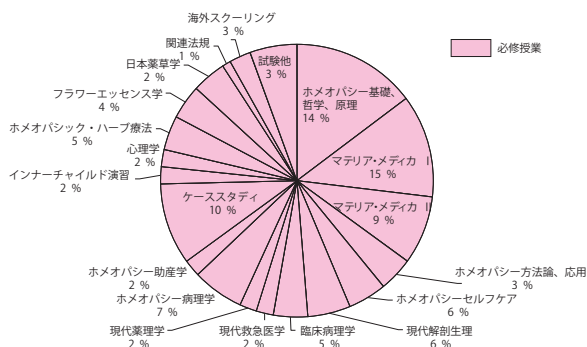
各コースのご案内



4月開講

ホメオパシー統合医療コース4年制コース(通学)

ホメオパシー統合医療コース授業内訳(4年間)



オプションとしてこのほかにJPHMAコンgres (推奨)、自然農園見学ツアー (推奨)、動物コース、新規設定コースなどを選択できます。なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。

ホメオパシー統合医療コースはプロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの技能、知識および現代医学の基礎知識の内容にプラスし、臓器療法、薬草ハーブ療法、フラワーエッセンスなどの統合医療を学べます。CHhom各校でのライブ中継、DVD上映または、ご自宅でのeラーニング形式で受講します。

● 難病の多い現代日本の状況に対応できるプロフェッショナルホメオパスの人材を養成します。

● 体・心・魂の症状をさまざまな角度から治療に導くために、現代医学の基礎、ホメオパシーにプラスして、臓器療法、薬草ハーブ療法、フラワーエッセンス、ホメオパシー自然農法なども学べます。

● 仕事や子育てで忙しい方や、遠方にお住まいの方でも、授業が週末に行われるため、4年間かけてしっかりとご自身の成長を確認しながら学べます。

● 入学試験として筆記(一般教養+論文)および面談を実施します。

● 卒業と同時に日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)ホメオパス認定試験の受験資格を得ることが出来ます。

カリキュラム

入学時期	毎年4月
修学期間	4年間
年間授業日数・授業時間	<ul style="list-style-type: none"> 通学：月2回(9:50-17:00)、土日の週末で年間約33日程度。 eラーニングによる自宅学習：年間約7日程度。合計年間40日程度 なお、授業日数は年度により変動する場合あり。 3、4年次にケーススタディ100ケース相当の受講日数が必要(一部は通学コースの日程に含む)
カリキュラム	<p>○必修(授業料に含む)</p> <p>ホメオパシー基礎、ホメオパシー哲学、オルガノン講読、慢性病論講読、マテリア・メディカI、II、ホメオパシー方法論、ホメオパシーセルフケア、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、ケーススタディ、インナーチャイルド癒し演習、心理学、フラワーエッセンス学、ホメオパシク・ハーブ療法基礎、実践、日本薬草学、現代薬理学、ホメオパシー助産学、関連法規、海外スクーリング等</p> <p>○オプション(別途授業料要)</p> <p>海外講師講義、JPHMAコンgres、動物コース授業、その他 なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。</p>
受講場所・授業形態	<p>CHhom札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校のいずれかにて受講</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義は、ライブ、中継、DVD上映を複合した形で提供。東京校においてもライブの大半は中継となる場合あり。講師のライブ講義を聞きたい方は、講師がライブを行う会場へ。 他校(全国5校)への転校可能。出張、旅行時の他校での受講も可能。

ホメオパシー統合医療コース（通学）

取得可能資格

認定機関	一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）
認定試験・受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ○本コース修了により、以下の受験資格取得 JPHMA認定ホメオパス（同種療法士）、「ホメオパシー統合医療アドバイザー」、「ホメオパシックスハーブ療法士」、「フラワーエッセンス療法士」 ○オプション授業（有料）を受講修了により、以下の受験資格取得 「JPHMA認定アニマルホメオパス（動物同種療法士）」 <p>なお、日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）の認定試験合格により資格付与、認定試験料は別途必要。</p>

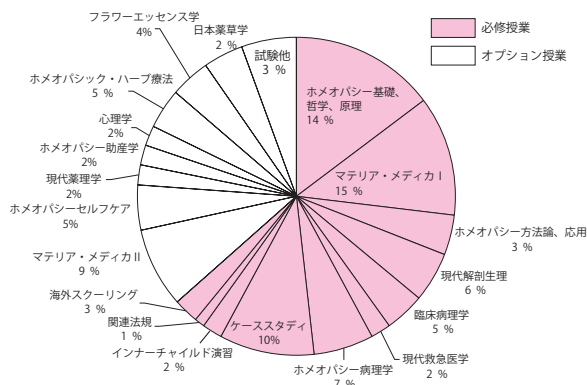
入学金・授業料・教材費

入学金	初年度のみ：15万円
授業料	授業料1年間一括の場合：80万円 2回分割の場合：前期45万円／後期40万円
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは各自購入（授業料にはテキスト代含まず）。 ・テキストは学生価格で購入可能。

その他

入学試験	筆記および面談を実施
卒業の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の条件がそろった場合に、卒業可能 ①必修科目の全単位取得 ②卒業試験に合格 ③ケーススタディ100ケース相当以上
試験	学年末の時期に、試験実施。
休学・復学	<ul style="list-style-type: none"> ・在学できる期間：休学期間を含め入学から卒業まで8年。 ・休学、復学は前期、後期での休学、復学が可能。 ・休学期間中は、一般扱いとなり、学生特典は利用不可。
補講対応	・必修授業欠席の場合、自宅にてeラーニング補講可能。
eラーニングによる自宅学習	eラーニングによる自宅学習を行う環境が必要。①通学による授業の他に、eラーニングによる必修授業あり。また、学生専用ホームページでの連絡事項あり。②【OS】WindowsXP SP3以降、MacOS 10.4以降 【ブラウザ】Internet Explorer 6以降（Windows）、Safari（MacOS）【その他】ADSL以上の回線でインターネットに接続可能なこと。Adobe Flash Playerが動作可能なこと。音声を聴くためにスピーカーまたはヘッドホンが必要です。③eラーニングの視聴の場合、ケース事例の映像は挿画や説明になる場合あり。またケース映像、音声にはモザイクをかけたり音声を変える場合あり。④eラーニングコース受講誓約書の提出必須。
お子さま連れでの授業対応	お子さま連れ、乳児連れでの授業受講不可。
CHhom主催の海外講師授業	<ul style="list-style-type: none"> ・必修授業の場合は、授業料に参加費用を含む。 ・オプションの授業の際には学生価格で参加可能。
ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホメオパスの健康相談会100ケース相当以上見学要。 ・必修であり、3、4年次の授業として実施（授業料を含む）。
海外スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・海外スクーリングは必修授業（4年間で1回 原則1年次 8日間程度） ・授業料には受講費用を含む。旅費、宿泊費等は各自負担。
日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）コンGRESS	<ul style="list-style-type: none"> ・JPHMAの年に一度の学術大会であり、全国各地で活躍する認定ホメオパスの改善事例のケース発表等実施。 ・推奨授業として、参加お勧め（有料）。
JPHMA 専門会員	<p>1年次から専門会員への加入推奨、3、4年次には加入必須</p> <p>JPHMA入会特典：①JPHMAコンGRESSへの会員料金参加可能 ②JPHMAジャーナル配布</p> <p>③学生がケーススタイク等で必要となるホメオパス育成の保険適用可能。</p>
学生特典	①ホメオパシー書籍の割引購入 ②講演会料金の割引 ③学生向け限定商品の購入（テキスト、TBR、レパートリーマシン、QX-SCIO）
留意事項	・入学申込み時に「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」同意書の提出が必要。

ホメオパシー専科コース授業内訳(4年間)



統合医療コースでは上記授業はすべて必修授業となります。統合医療コースと比較のための必修、オプション授業をわかりやすく示しています。オプションとしてこのほかにJPHMAコンgres(推奨)、自然農園見学ツアー(推奨)、動物コース、新規設定コースなどを選択できます。なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。

ホメオパシー専科通学コースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。CHhom各校でライブ、中継、もしくはDVD上映講義の形式で受講します。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。

● 難病の多い現代日本の状況に対応可能な、体・心・魂を癒すプロフェッショナルホメオパスを養成します。

● ホメオパシー統合医療コースと同じホメオパシーの講義および現代医学の基礎を学びます。

● 薬草ハーブ療法、フラワーエッセンス、ホメオパシー自然療法など、ホメオパシー統合医療コースの講義はオプション(有料)で学ぶことができます。

● 仕事や子育てで忙しい方や、遠方にお住まいの方でも、授業が週末に行われるため、4年間かけてしっかりとご自身の成長を確認しながら学べます。

● ホメオパシー統合医療コースより年間授業時間が少ないため、より学びやすくなっています。

● 入学試験として筆記(一般教養+論文)および面談を実施します。

● 卒業と同時に日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)ホメオパス認定試験の受験資格を得ることが出来ます。

カリキュラム

入学時期	毎年4月
修学期間	4年間
年間授業日数・授業時間	<ul style="list-style-type: none"> 通学：月2回(9:50~17:00)、土日の週末で年間約28日程度 eラーニングによる自宅学習：オプション授業(有料)として受講可能。なお、授業日数は年度により変動する場合あり。 3、4年次にケーススタディー100ケース相当の受講日数が必要(一部は通学コースの日程に含む)。
カリキュラム	<p>○必修(授業料に含む)</p> <p>ホメオパシー基礎、ホメオパシー哲学、オルガノン講読、慢性病論講読、マテリアメディカI、ホメオパシー方法論、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、ケーススタディー、インナーチャイルド癒し演習、関連法規、海外スクーリング等</p> <p>○オプション(別途授業料要) マテリアメディカII、ホメオパシーセルフケア、心理学、ホメオパシク・ハーブ療法基礎・実践、フラワーエッセンス学、日本薬草学、現代薬理学、ホメオパシー助産学、海外講師講義、JPHMAコンgres、動物コース授業 その他</p> <p>なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。</p>
受講場所・授業形態	<p>CHhom札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校のいずれかにて受講</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義は、ライブ、中継、DVD上映を複合した形で提供。東京校においてもライブの大半は中継となる場合あり。 講師のライブ講義を聞きたい方は、講師がライブを行う会場へ。 他校(全国5校)への転校可能。出張、旅行時の他校での受講も可能。

ホメオパシー専科コース（通学）

取得可能資格

認定機関	一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA)
認定試験・受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ○本コース修了により、以下の受験資格取得 「JPHMA認定ホメオパス（同種療法士）」 ○オプション授業（有料）を受講修了し、以下の受験資格取得 「ホメオパシー統合医療アドバイザー」、「ホメオパシク・ハーブ療法士」、「フラワーエッセンス療法士」、 「JPHMA認定アニマルホメオパス（動物同種療法士）」 <p>なお、日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) の認定試験合格により資格付与、認定試験料は別途必要。</p>

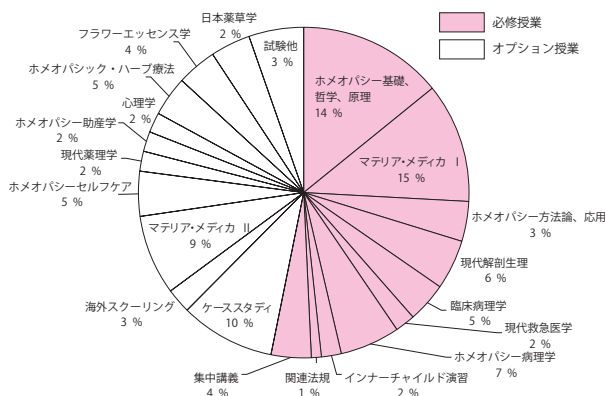
入学金・授業料・教材費

入学金	初年度のみ：15万円
授業料	授業料1年間一括の場合：70万円 2回分割の場合：前期39万円／後期35万円
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは各自購入（授業料にはテキスト代含まず）。 ・テキストは学生価格で購入可能。

その他

入学試験	筆記および面談を実施
卒業の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の条件がそろった場合に、卒業可能 ①必修科目の全単位取得 ②卒業試験に合格 ③ケーススタディ100ケース相当以上
試験	学年末の時期に、試験実施。
休学・復学	<ul style="list-style-type: none"> ・在学できる期間：休学期間を含め入学から卒業まで8年。 ・休学、復学は前期、後期での休学、復学が可能。 ・休学期間中は、一般扱いとなり、学生特典は利用不可。
補講対応	<ul style="list-style-type: none"> ・必修授業欠席の場合、自宅にてeラーニング補講可能。
eラーニングによる自宅学習	eラーニングによる自宅学習を行う環境が必要。①通学による授業の他に、eラーニングによる必修授業あり。また、学生専用ホームページでの連絡事項あり。②【OS】WindowsXP SP3以降、MacOS 10.4以降 【ブラウザ】Internet Explorer 6以降 (Windows)、Safari (MacOS) 【その他】ADSL以上の回線でインターネットに接続可能なこと。Adobe Flash Player が動作可能なこと。音声を聴くためにスピーカーまたはヘッドホンが必要です。③eラーニングの視聴の場合、ケース事例の映像は挿画や説明になる場合あり。またケース映像、音声にはモザイクをかけたリ音声を変える場合あり。④eラーニングコース受講誓約書の提出必須。
お子さま連れでの授業対応	お子さま連れ、乳児連れでの授業受講不可。
CHhom主催の海外講師授業	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション授業として学生価格で参加可能。
ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホメオパスの健康相談会100ケース相当以上見学要。 ・必修であり、3、4年次の授業として実施（授業料に含む）。
海外スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・海外スクーリングは必修授業。（4年間で1回 原則1年次 8日間程度）。 ・授業料には受講費用を含む。旅費、宿泊費等は各自負担。
日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) コングレス	<ul style="list-style-type: none"> ・JPHMAの年に一度の学術大会であり、全国各地で活躍する認定ホメオパスの改善事例のケース発表等実施。 ・推奨授業として、参加お勧め（有料）。
JPHMA 専門会員	1年次から専門会員への加入推奨、3、4年次には加入必須 JPHMA入会特典：①JPHMAコングレスへの会員料金参加可能 ②JPHMAジャーナル配布 ③学生がケーステイク等で必要となるホメオパス育成の保険適用可能。
学生特典	①ホメオパシー書籍の割引購入 ②講演会料金の割引 ③学生向け限定商品の購入（テキスト、TBR、レパートリーマシン、Q X-SCIO）
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション授業を受講される場合、1日の基本料金は12,000円程度。ただし、オプション授業は種別により、受講料金が異なる場合あり。 ・入学申込み時に「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」同意書の提出が必要。

ホメオパシー専科eラーニングコース授業内訳(4年間)



統合医療コースでは上記授業はすべて必修授業となります。統合医療コースと比較のための必修、オプション授業をわかりやすく示しています。オプションとしてこのほかにJPHMAコンgres(推奨)、自然農園見学ツアー(推奨)、動物コース、新規設定コースなどを選択できます。なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。

ホメオパシー専科eラーニングコースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。eラーニングによる講義のため、自宅で学ぶことができます。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。

●難病の多い現代日本の状況に対応可能な、体・心・魂を

癒すプロフェッショナルホメオパスを養成します。

●ホメオパシー統合医療コースと同じホメオパシーの講義および現代医学の基礎を学びます。

●薬草ハーブ療法、フラワーエッセンス、ホメオパシー自然療法などの講義はオプション(有料)で学ぶことができます。

●パソコンを使用したeラーニングによる講義のため、日本全国、海外からも自宅にいながら都合のよい時間に学ぶことができます。

●入学試験として筆記(一般教養+論文)及び面談を実施します。

●コース修了時にはプロフェッショナルホメオパス養成コースの修了証書が発行されます。別途ケーススタディを100ケース相当を行った時点で卒業となり、日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)ホメオパス認定試験の受験資格を得ることができます。

カリキュラム

入学時期	毎年6月
修学期間	4年間
年間授業日数・授業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングによる自宅学習：年間約22日程度(1回3時間50回) ・集合授業：年間2日程度(9:50~17:00)進級試験も合わせて実施。札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校のいずれかで受講。なお、授業日数は年度により変動する場合あり。 ・3、4年次にケーススタディ100ケース相当の受講日数が必要(*オプションのため有料)。
カリキュラム	<p>○必修(授業料に含む)</p> <p>ホメオパシー基礎、ホメオパシー哲学、オルガノン講読、慢性病論講読、マテリア・メディカⅠ、ホメオパシー方法論、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、インナーチャイルド癒し演習、関連法規等</p> <p>○オプション(別途授業料要)</p> <p>マテリア・メディカⅡ、ホメオパシーセルフケア、心理学、ホメオパシックス・ハーブ療法基礎、実践、フラワーエッセンス学、日本薬草学、現代薬理学、ホメオパシー助産学、海外講師講義、JPHMAコンgres、海外スクーリング、動物コース授業 その他</p> <p>○修了後のコース(別途料金要在学中3、4年生での受講も可能) ケーススタディ(100ケース相当以上) なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。</p>
受講場所・授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・基本は自宅(eラーニングによる自宅学習) ・集中講義および修了試験の際のみ、最寄りの学校で受講(札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校)。 <p>講師のライブ講義を聴講希望の方は、講義会場へお越しください。</p>

ホメオパシー専科 e ラーニングコース

取得可能資格

認定機関	一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA)
認定試験・受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ○本コース修了により、修了資格を取得（修了証書授与） ・修了後のコースとして、ケーススタディー 100ケース相当受講（有料）により卒業証書授与、以下の受験資格取得「JPHMA認定ホメオパス（同種療法士）」 ○オプション授業（有料）を受講修了し、以下の受験資格取得「ホメオパシー統合医療アドバイザー」、「ホメオパシックスハーブ療法士」、「フラワーエッセンス療法士」、「JPHMA認定アニマルホメオパス（動物同種療法士）」 <p>なお、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験合格により資格付与、認定試験料は別途必要。</p>

入学金・授業料・教材費

入学金	初年度のみ：15万円
授業料	授業料 1年間一括の場合：60万円 2回分割の場合：前期 33万円 / 後期 30万円
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは各自購入（授業料にはテキスト代含まず）。 ・テキストは学生価格で購入可能。

その他

入学試験	筆記および面談を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校の最寄りの学校で実施。 ・特別の事情があり、来校不可能な場合は応相談。
修了の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の条件がそろった場合に、修了可能 ① 必修科目の全単位取得 ② 修了試験に合格 ・なお、ケーススタディー100ケース相当以上は修了後のコースとして受講可能。
試験	年間2日間の集合授業の際に、試験をあわせて実施。
休学・復学	<ul style="list-style-type: none"> ・在学できる期間：休学を含め入学から卒業まで6年。休学、復学は年単位での休学、復学可能。休学期間中は一般扱いとなり、学生特典は利用不可。
補講対応	・補講対応なし
e ラーニングによる自宅学習	e ラーニングによる自宅学習を行う環境が必要。① 通学による授業の他に、eラーニングによる必修授業あり。また、学生専用ホームページでの連絡事項あり。②【OS】WindowsXP SP3以降、MacOS 10.4以降 【ブラウザ】Internet Explorer 6以降 (Windows)、Safari (MacOS)【その他】ADSL以上の回線でインターネットに接続可能なこと。Adobe Flash Player が動作可能なこと。音声を聴くためにスピーカーまたはヘッドホンが必要です。③eラーニングの視聴の場合、ケース事例の映像は挿画や説明になる場合あり。またケース映像、音声にはモザイクをかけたり音声を変える場合あり。④eラーニングコース受講誓約書の提出必須。
お子さま連れでの授業対応	対象外
CHom主催の海外講師授業	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション授業として学生価格で受講可能。 ・ただし、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校のいずれかで受講。基本的に、eラーニングでの提供なし。
ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ・認定資格取得のためケーススタディ100ケース相当以上見学要 ・卒業後のコースとして別途料金必要（1ケース1,000円予定）、（在学中3、4年生での受講も可能） ・札幌、東京、名古屋、大阪、福岡校のいずれかで受講
海外スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・海外スクーリングはオプション授業（8日間程度） ・参加される場合には授業料、旅費、宿泊費等、各自負担。
日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) コンgress	<ul style="list-style-type: none"> ・JPHMAの年に一度の学術大会であり、全国各地で活躍する認定ホメオパスの改善事例のケース発表等実施。 ・推奨授業として、参加お勧め（有料）。
JPHMA 専門会員	<p>1年次から専門会員への加入推奨。ケーステイクを行う際には加入必須。</p> <p>JPHMA入会特典：① JPHMAコンgressへの会員料金参加可能 ② JPHMAジャーナル配布 ③ 学生がケーステイク等で必要となるホメオパス育成の保険適用可能。</p>
学生特典	①ホメオパシー書籍の割引購入 ②講演会料金の割引 ③学生向け限定商品の購入（テキスト、TBR、レパトリーマシ、Q X-SCIO）
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション授業を受講される場合、1日の基本料金は12,000円程度。ただし、オプション授業は種別により、受講料金が異なる場合あり。 ・入学申込み時に「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」同意書の提出が必要。

取得可能な資格

Chhomは「日本で唯一ホメオパス職業保険を持つ非営利団体である日本ホメオパシー財団 **JPHMA**」の認定校です。**Chhom**を卒業すると、日本ホメオパシー財団 **JPHMA** ホメオパス認定試験の受験資格を得ることが出来ます。**Chhom**において、定められた授業単位を修得し、卒業後、定められた認定試験に合格すると新たな資格が付与されます。

JPHMA 認定ホメオパス (同種療法士)

Chhomにおいて、現代医学の解剖・病理・生理、ホメオパシーの病理・生理、救急医学、薬理学並びにハーネマンの原典に基づく本来のホメオパシーを習得するため、定められた授業を履修し、修了した方に「**JPHMA** 認定ホメオパス (同種療法士)」認定試験の受験資格が与えられます。

ホメオパシックハーブ療法士

Chhomにおいて、現代医学の解剖・病理・生理、救急医学、薬理学、ホメオパシーの病理・生理並びにハーネマンの原典に基づく本来のホメオパシーを習得するため、定められた授業を履修し、修了していることが、資格取得の前提条件となります。さらに、ホメオパシックハーブ療法、日本薬草学を習得するための、定められた授業を履修し、修了した方に「ホメオパシックハーブ療法士」認定試験の受験資格が与えられます。

フラワーエッセンス療法士

Chhomにおいて、現代医学の解剖・病理・生理、救急医学、薬理学、ホメオパシーの病理・生理並びにハーネマンの原典に基づく本来のホメオパシーを習得するため、定められた授業を履修し、修了していることが、資格取得の前提条件となります。さらに、フラワーエッセンス療法を習得するための、定められた授業を履修し、修了した方に「フラワーエッセンス療法士」認定試験の受験資格が与えられます。

ホメオパシー 統合医療アドバイザー

Chhomにおいて、現代医学の解剖・病理・生理、ホメオパシーの病理・生理救急医学、薬理学、並びにハーネマンの原典に基づく本来のホメオパシーおよびホメオパシックハーブ療法、フラワーエッセンス療法の定められた授業を履修し、修了し、「**JPHMA** 認定ホメオパス (同種療法士)」、「ホメオパシックハーブ療法士」、「フラワーエッセンス療法士」の認定試験に合格した者に同時に与えられる資格です。

JPHMA 認定アニマルホメオパス (動物同種療法士)

Chhomにおいて、現代医学の解剖・病理・生理、救急医学、薬理学、ホメオパシーの病理・生理並びにハーネマンの原典に基づく本来のホメオパシーを習得するため、定められた授業を履修し、修了していることが、資格取得の前提条件となります。さらに、動物のホメオパシーを習得するための、定められた授業を履修し、修了した方に「**JPHMA** 認定アニマルホメオパス (動物同種療法士)」認定試験の受験資格が与えられます。

JPHMA認定ホメオパス (同種療法士)	ホメオパシックハーブ療法士	フラワーエッセンス療法士	ホメオパシー統合医療アドバイザー	JPHMA認定アニマルホメオパス (動物同種療法士)
			フラワーエッセンス	動物ホメオパシー
		フラワーエッセンス	ホメオパシックハーブ	動物の病理・生理
ホメオパシー	ホメオパシー	ホメオパシー	ホメオパシー	現代救急医学
ホメオパシーの病理・生理	ホメオパシーの病理・生理	ホメオパシーの病理・生理	ホメオパシーの病理・生理	ホメオパシー
現代医学(解剖・生理・病理等)	現代医学(解剖・生理・病理等)	現代医学(解剖・生理・病理等)	現代医学(解剖・生理・病理等)	ホメオパシーの病理・生理
				現代医学(解剖・生理・病理等)



年間スケジュール

充実の4年間の始まりの年はどうのような学校生活が待ち構えているのか、2018年度の年間スケジュールを例にしてご案内します。なお、入学をご希望の方には、最新のスケジュールを別途お知らせします。

CHhom 9期生 ホメオパシー統合医療コース、ホメオパシー専科通学コース

2018年9月9日現在

2018年度年間スケジュール

 CHhom ■ ホメオパシー統合医療コース ■
 CHhom ■ ホメオパシー専科通学コース ■

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
																													必修	必修
5月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
																													必修	必修
6月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	必修																													
8月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
9月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
10月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
11月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
12月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
2月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
3月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

* 授業日数、日程は、変更される場合があります。
 * 講師のライブ講義を聞きたい方は、講師がライブを行う会場にお越しください。
 * 東京校においてもライブの大半は中継となる場合があります。

講師の紹介

Chomでは、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子学長をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。

RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできており、癌など様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コロタのホメオパス・バナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ中央評議会長官で、皮膚疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKMマンチャンダ博士をはじめ、ハーネマン研究では、カナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアディス氏や、現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストとしての側面を持つホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、ホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジェ・グランジョージ氏をはじめ、様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘してきました。



由井寅子

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー

Chom学長

ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー

RAH学長

日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)名誉会長

一般財団法人 日本ホメオパシー財団(JPHF) 理事長

日本ホメオパシーセンター 総センター長

農業法人 日本豊受自然農株式会社 代表取締役 社長・農民

FHMA 【英国ホメオパシー医学協会(FHMA) 名誉会員】

Hon.Dr.Hom 【ホメオパシー名誉博士(Pioneer University)】

Ph.D.Hom 【ホメオパシー博士(International Medical University)】

D.C.Hom 【クリニカルホメオパス】

二十年に及ぶ臨床経験を持ち、難病・医原病に対するホメオパシーの研究と実践に全身全霊を注いでいます。現代に合わせた対医原病アプローチの三次元メソッドは、世界的な評価を受けており、非常に高い治癒率で改善がみられています。

臨床経験と研究、自らの体験を含め、あらゆるエッセンスが盛り込まれた講義では、ホメオパシーの神髄が語られます。

● 由井学長は以下の科目を担当します

ホメオパシー原理(ケース含む)

ホメオパシー病理(ケース含む)

ホメオパシーメソッド(ケース含む)

ホメオパシー哲学と生き方(インナーチャイルド含む)

マテリア・メディカ

自然療法(薬草ハーブ・自然農法)

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）、レパートリー（TBR）



新城 英一

RAH 九期生

JPHMA 認定ホメオパス No. 四五二
日本ホメオパシーセンター 東京本部

ホメオパシーの基本知識、病理を熟知。
大胆で力強い話し方と分かりやすい説明に
定評があります。



菊田 雄介

RAH フルタイムイブニングコース 一期生

JPHMA 認定ホメオパス No. 四〇六
日本ホメオパシーセンター 東京本部

ホメオパシーの基本知識、ケースを熟知。
相手を受け入れ、穏やかな語り口の中に
ユニークさが光ります。



麻野 輝恵

RAH 四期生

JPHMA 認定ホメオパス No. 〇七〇
日本ホメオパシーセンター 大阪本部

日本ホメオパシー大阪本部のセンター長と
しての経験をフルに活かし、根気強く丁寧
に教える授業に定評があります。



松尾 敬子

RAH 五期生

JPHMA 認定ホメオパス No. 〇一五三
日本ホメオパシーセンター 埼玉日高

豊富な症例をもとに、自身の体験を含めて解
説されます。熱意と情勢が伝わってくる授業
は定評があります。

薬草学・薬理学



小谷 宗司

薬剤師 長野県薬草指導員
NPO 法人自然科学研究所
理事長

現在、御嶽山の植物を研究。
日本の薬草学を中心に、薬
用植物の解説を行います。



山内 知子

RAH 四期生
JPHMA 認定ホメオパス
No.一〇九
日本ホメオパシーセンター
大阪本部

薬剤師の視点から見たレメ
デーの見解は、独自性が
あります。

解剖・生理・病理



酒向 猛

医学博士／外科医師

外科治療だけでなく、統合医療部
の担当医師として、ホメオパシー
をはじめとした統合医療も取り入
れています。病理生理の講義担当。
千鳥学説の実践家であります。



増田 敬子

RAH 八期生
JPHMA 認定ホメオパス
No.三五七
日本ホメオパシーセンター東京本部

大学の非常勤講師。大学の講師と
して運動生理学、実技全般を担当。
解剖生理の講義を担当します。

救急医学



高野 弘之

豊受クリニック 医師

地域医療の第一線を長年担ってき
た経験を生かし、豊受クリニック
を開設。ホリスティックな医療を
実践し、知識を伝えます。

関連法規



秋山 佳胤

RAH 九期生
JPHMA 認定ホメオパス
No.四二一
日本ホメオパシーセンター
東京千鳥ヶ淵

弁護士 東京弁護士会所属

論理明快な思考、語り口は
定評があります。

ケンティアンから本物のハーネマニアンに戻るために
これまでに招聘した海外講師から



ジョージ・デイミトリアデイス

オーストラリアのハーネマン・インスティテュート・シドニーの創立者であり校長です。約三十年間ホメオパシーの研究を続け、二十二年間以上オーストラリアや海外で教えています。ポーニンクハウゼンのレパートリー（TBR）の編集を手がけ、オーストラリアやニュージーランドで、教えています。ポーニンクハウゼンのレパートリーメソッドの第一人者であり、ハーネマンのオルガノン、慢性病についての研究者としても名高く、ホメオパシー専門誌への寄稿も多数あります。



トレバー・ガン

生化学者、英国のホメオパスであり、R A H 英国本校の副学長を務めます。『予防接種は果たして有効か』の著者です。ガン氏の病理・生理に関するアプローチは、体の生体システム、病気のプロセスについての誤った常識を覆し、真の理解を与えてくれます。



ルデュー・バースパー

オランダ出身、カナダ在住のホメオパス。ハーネマンの医療体系を二十年以上にわたって研究し、複雑な慢性のケースに関する豊富な臨床経験を身につけました。歴史と哲学に関する長年の研究により、伝統的なホメオパシー治療に生じていたさまざまな問題・課題を検証し、体系的でダイナミックな治療法を生み出しました。『ダイナミック・レガシー』他、多くの著作があり、欧米で多数の講演を行っており、教育にも力を注いでいます。



ユブラジ・シャルマ

医師として、ロイヤル・ロンドン・ホメオパシック・ホスピタルで勤務経験あり。その後、個人医として開業し、現在に至ります。現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストとしての側面を持つホメオパス。東洋医学・ホメオパシー医学・現代医学・神智学・霊的な病理・生理学を一体とする講義は明瞭、簡潔です。



エワルト・ストットラー

最先端を走る、ハーネマン研究者であり、深い洞察を行い、体系的なアプローチを開発し実践しています。花びらメソッドによるマヤズム理解、介入レメディー、LMポテンシーなどの解説は、オルガノン、慢性病論を真に理解する上で重要となります。三十五年間ホメオパシーを実践し、療法家として癌、慢性病を含め八割以上の治癒（根治）率を誇る欧州でも傑出したホメオパスです。

各校のご案内

国内に五拠点を持つ、
日本最大のホメオパシー
スクール

国内に五拠点を持つ、日本最大のホメオパシースクール
CHhomは札幌、東京、名古屋、大阪、福岡の五か所に校舎があり、それぞれ質疑応答も可能なインターネットTV同時中継システムやLL教室などの設備、学習環境とも充実しています。

生中継による複数拠点同時講義

CHhomは独自の生中継システムを導入し、CHhom札幌・東京・名古屋・大阪・福岡校、洞爺セミナーハウスおよびRAH英国本校を生中継で繋ぐことができます。どの拠点においても、中継で授業を受ける環境が整っており、

どの拠点からも講師にリアルタイムで質問もできます。なお、学生は、出張や旅行の際には最寄りの学校で受講することができます。

講義は、ライブ、中継、DVD上映、eラーニングを複合した形で提供されます。ライブ、中継の授業では、通信教育では体験できない、講師の迫力、直接の質疑応答の醍醐味を体験できます。

一方、授業形態にeラーニングを取り入れることにより、自宅で都合の良い時間に、学ぶことができます。

※なお、講師、授業内容、受講生の状況により、今後DVD上映やeラーニングの割合が年々増える可能性もあります。また、東京校においてもライブの大半は中継となる場合もあります。講師のライブ講義を聞きたい方は、講師がライブを行う会場にお越しください。

CHhomのセミナー中継校





CHhom 東京本校

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台 2-2-3 矢藤第3ビル

TEL: 03-5797-3250 / FAX: 03-5797-3251

Email: CHhom@homoeopathy.ac

- 東急田園都市線 用賀駅 南口より徒歩 10分
- 東急バス 渋 12 渋谷駅→二子玉川駅方面瀬田バス停より徒歩 5分

CHhom東京校は、二〇一四年八月、これまでの池尻大橋より移転しました。新しい校舎は、東急田園都市線・用賀駅より徒歩十分ほどのところに、校舎の内壁はレメディー入り土壁、全教室が京都の井草を使った畳の教室という、さらに快適な環境での学びの場となりました。

学校、センター、レストラン、ショップ、クリニックが
設備された健康複合施設CHhom東京校





CHhom 東京本校に併設する その他の施設

CHhom 東京本校の校舎内にはホメオパシーを学ぶためのさまざまな充実の施設が併設されています。

◆一階 豊受オーガニクスレストラン

「あなたの身体は、あなたが食べるもので、つくられる」

静岡県函南、北海道洞爺の豊受自然農の圃場から無農薬・無化学肥料、自然農法で栽培、収穫した野菜やハーブと2500mの深海をほこる静岡駿河湾から獲れる魚を材料に安心、安全な食、その上においしいものを提供する自然農の農家が営むレストランです。

営業時間：昼の部 十一時半～十五時
 (昼の部ラストオーダー 十四時半)
 夜の部 十七時～二十一時
 (夜の部ラストオーダー 二十時)
 定休日：月・火※祝日は営業します。

◆一階 豊受オーガニクスショップ

これまでの豊受自然農の化粧品、食品だけでなく、豊受自然農函南がある静岡県の美味しい物から、全国の健康志向の方に人気のオーガニック商品を中心に広く展開してまいります。

電話：〇三―五七九七―三二五二
 営業時間：十時半～二十時
 定休日：月・火※祝日は営業します。



豊受オーガニクスレストラン



豊受オーガニクスショップ



豊受クリニック

◆三階 日本ホメオパシーセンター 東京本部

由井寅子日本ホメオパシーセンター総センター長はじめ、RAH・CHhom卒業後さまざまなクライアントを治療に導いてきた精鋭ホメオパスによるホメオパシー健康相談会が行われております。ホメオパシーの学業とともに、健康相談会をお受けになり、ご自身やご家族のインナーチャイルドの解放にお役立てください。

※ホメオパシー健康相談会は別途相談料がかかります。

詳しくは、日本ホメオパシーセンター東京総本部
 電話：〇三―五七九七―三二五六
 受付時間：九時半～十七時半
 定休日：月・火※祝日は営業します。

◆一階 豊受クリニック

医療法人 豊受会 豊受クリニック
 体の問題が気になる方はCHhom 東京校建物に隣接する日本ホメオパシー医学協会の提携クリニックである豊受クリニックで受診することも可能です。ここでは、不必要な薬や注射はしません。

電話：〇三―五七九七―二七〇二
 【完全予約制】
 休診：月・土・日



地下鉄西28丁目駅から徒歩1分。
落ち着いた環境で学べます。

CHhom 札幌校

〒064-0825 札幌市中央区北5条西27丁目2-6
翔栄ビル2階
TEL:011-633-0577 / FAX:011-633-0578
Email: CHhom-sapporo@homoeopathy.ac
● 札幌市営地下鉄東西線「西28丁目」駅 徒歩1分

☆併設施設

- 日本ホメオパシーセンター札幌本部
Tel: 011-633-0577 Fax: 011-633-0578
受付時間 9:30 ~ 17:30
- CHhom ショップ札幌店 営業時間 9:30 ~ 17:30
ホメオパシー書籍、豊富野菜、豊富化粧品、食品も取り扱っております。
センター、ショップとも、定休日:月・火※祝日は営業します。



自然喫茶も併設する学び舎

CHhom 名古屋校

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-21-8
船入ビル6階
TEL: 052-533-0171 FAX: 052-533-0172
Email: CHhom-nagoya@homoeopathy.ac
● JR名古屋駅より徒歩12分
● 地下鉄桜通線国際センター駅3番出口徒歩5分

☆併設施設

- 日本ホメオパシーセンター名古屋本部
Tel: 052-533-0171 Fax: 052-533-0172
受付時間 9:30 ~ 17:30
- CHhom ショップ名古屋店
ホメオパシー書籍、豊富野菜、豊富化粧品、食品も取り扱っております。
営業時間 9:30 ~ 17:30
- Mother T KISS@名古屋店
豊受のハーブを生かしたハーブティーやクッキー、マザーチンクチャーカクテルも楽しめる自然喫茶です。
営業時間 10:00 ~ 17:30 (ラストオーダー 17:00)
センター、ショップとも、定休日:月・火※祝日は営業します。



江坂駅から徒歩約1分。
二〇一六年春、木や
畳の薫る居心地の良い
場所へ移転！
自然喫茶も併設



CHhom 大阪校

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-22-22 盟友ビル3F
TEL:06-6368-5355 / FAX:06-6368-5354
Email: CHhom-osaka@homoeopathy.ac

- 大阪市営地下鉄御堂筋線「江坂」駅
6番出口より徒歩1分

☆併設施設

- 日本ホメオパシーセンター大阪本部
Tel:06-6368-5350 Fax:06-6368-5354
受付時間 9:30~17:30
- 豊受オーガニクスショップ大阪店 営業時間 9:30~17:30
ホメオパシー書籍、豊受野菜、豊受化粧品、食品も取扱っています。
センター、ショップとも、定休日:月・火 ※祝日は営業します。



通学に便利な
福岡校は
環境対策にも
こだわっています



CHhom 福岡校

〒810-0022 福岡市中央区薬院1-16-5 松井ビル701
TEL:092-738-6844 / FAX:092-738-6845
Email: CHhom-fukuoka@homoeopathy.ac

- 福岡市営地下鉄七隈線 薬院駅下車 徒歩5分
- 西鉄天神大牟田線「薬院駅」下車北口より徒歩3分

☆併設施設

- 日本ホメオパシーセンター福岡本部
Tel:092-738-6844 Fax:092-738-6845
受付時間 9:30~17:30
- CHhom ショップ福岡店 営業時間 9:30~17:30
ホメオパシー書籍、豊受野菜、豊受化粧品、食品も取扱っています。
センター、ショップとも、定休日:月・火 ※祝日は営業します。



C H h o m 学生・卒業生の特典

豊受オーガニクスショップングモールの会員特典の適用

C H h o m 4 年制の学生は、在学中、豊受オーガニクスショップングモール（以下、豊受モール）のプレミアム会員特典が適用されます。豊受化粧品、食品、書籍やDVD他、



ホメオパシー出版刊行の書籍

C H h o m の特典

モール出店会社の商品の購入の際に、ポイントが付与されます。特典の詳細は、豊受モール会員規約をご確認ください。

講演会料金の割引

C H h o m 主催の講演会に学生特別価格で参加できます。

学生向け限定商品の購入

◎テキスト

ハーネマンのドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した「マテリア・メディカ・プーラ」、「慢性病のマテリア・メディカ」、ホメオパス必携の本格的なボーンイングハウゼンのレパトリリーである「TBR」日本語版、さらにTBRから作成された「TBRマテリア・メディカ+」の購入ができます。C H h o m の教科書として使

用しており、一般販売しておりません。



TBR PCソフト

◎TBRレパトリリーマシン

ホメオパス必携の本格的なボーンイングハウゼンのレパトリリーであるTBR日本語版を、パソコンソフトウェアの形で購入することができます。他に、ホメオパス向けの本格的な日本語版ロータス・マテリア・メディカ、日本語版ロータスレパトリリーをパソコンソフトウェアの形で、購入することができます。

◎QXISCIO

ホメオパシー測定修正機器を特別価格にて購入することができます。



QXISCIO

その他特典

学生になるとJPHMAへの入会資格（専門会員）が得られます。JPHMAに入会すると年一回開催されるプロフェッショナルホメオパス学術大会であるJPHMAコングレスへの特別価格での参加ができ、JPHMAの会報誌・ホメオパシクジャーナルが配布されます。また、JPHMA主催の講演会に会員価格で参加できます。



※C H h o m では、一年次からJPHMA専門会員に加入することを推奨しています。



JPHMA会報誌
ホメオパシクジャーナル

CHhom 一年次のイベント

CHhomでは、一年を通じてさまざまなイベントが行われます。二〇一八年度のイベントの一部をご紹介します。

今年度の海外スクーリングは、ヨーロッパのイタリア、イギリスの二カ国をめぐり、各国のホメオパシーの状況を様々な角度から体験していただける機会を準備しました。

※スケジュールは変更となる場合があります。また、授業は選択制（オプショナル）のものもあります。

二〇一八年

入学前

随時、CHhom入学試験

四月

CHhom入学式
記念すべき四年間のホメオパシーの学びが始まります。

五月

函南自然農園
ハーブ農業実践

六月

eラーニングコース開講

七月末

ヨーロッパスクーリング
イタリアのカンファレンスに発表者として招聘されている由井学長と参加。イギリスでは由井学長の講演会に参加。ローマのホメオパシー博物館及び、ナポリのホメオパシー製造会社を訪問。その他ローマの名所観光など。



二〇一八年八月
北海道洞爺
農業基礎、実践授業、
自然農体験ツアー



八月

洞爺自然農園・薬草ハーブ畑を訪問。ホメオパシクハーブ植物見学・実習

九月

学習の進み具合確認（状況により、個別あるいは全体で実施）

十月

静岡県函南豊受自然農園にて秋の収穫祭

二〇一九年

一月

C h o m 由井学長
新年のあいさつ

二月

日本ホメオパシー財団
日本ホメオパシー医学協会（J P H M A）による、
J P H M A コングレス開催予定

C h o m 進級試験

進級試験ではレベルに達しない方は再試験を行い、個々の学生が一定以上のレベルで進級するようにしていきます。



二〇一八年一月十三日・十四日開催
日本ホメオパシー医学協会主催
第十八回 J P H M A コングレス・ホメオパシー学術大会



二〇一五年 ブータン王国訪問
ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチク第5代国王陛下との拝謁

卒業後の進路・就職状況

二〇一八年一月末現在、**Chom**の前身である**RAH**と、**Chom**を卒業した約六〇〇名のホメオパスたちが、日本各地で活動しています。

卒業生の方の多くが、ご自身でセンター（日本ホメオパシーセンターは、全国で約三百カ所）を開き、ホメオパスとして、ホメオパシー健康相談やホメオパシーセミナーを開催しています。個人センターの他に、日本各地のホメオパシーセンター本部でホメオパスとして活躍している方もいます。現在、東京用賀のセンターには十名のホメオパスがおります。日本でも、既に累計二百万人の方がホメオパシーを使用しています。

また、ホメオパシー商品の販売店や取扱所をしている方、**Chom**や**RAH**の講師として活躍している

方など、ご自身のライフスタイルに合わせて、**RAH**で学んだことを活かしています。現代医学との提携ということで、セントマーガレット病院内に日本ホメオパシーセンターが誕生し、検査等を病院で行っています。また、**Chom**では自然療法を実践する**Chom**卒業生の高野医師による豊受クリニックが隣接し、現代医学とホメオパシー統合医療の協力体制ができています。

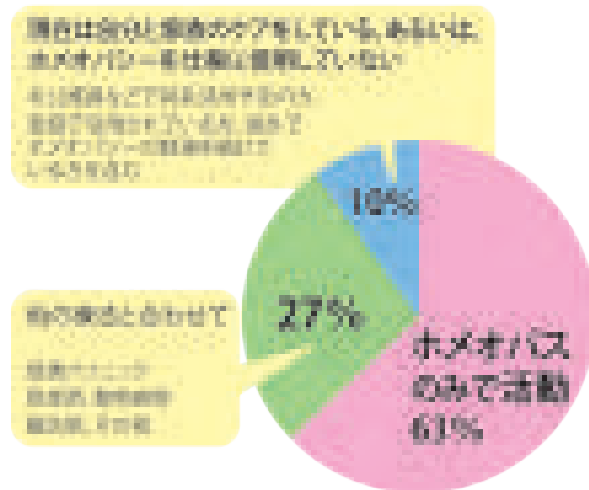
JPHMA 認定後の卒業生の進路状況

卒業後、九〇%の方が何らかの形でホメオパシーを活かされ、実践されているという卒業後に**Chom**での教育を活かして活躍されている方が多いのが本校の特徴です。



Chom 卒業式より

JPHMA 認定後の卒業生の進路状況



2007年調査

在校生・卒業生の声

入学のきっかけは人それぞれ、でも、目指すのはプロフェッショナルホメオパス！ 在校生も卒業生もみんながんばってます。そんな先輩たちの声をお聞きください。

◆命あるものすべてが等しく受けられる恩恵

Chhom1期 K・Mさん

よく、友人からは何足のわらじを履いているのかと言われ



る。ウィークデーは本業であるデザインの仕事、土日、時には平日もだがドッグトレーナー。二年前にChhomに入学してからは、授業とトレーニングを両立するのに土日の休みはほとんど無い。人から見れば、休む間もなくて大変ではないかと思われるようだが実際にはとても充実している。ホメオパシーを学ぼうと思ったこと、もっと言えば、ドッグトレーナーを学ぼうと思ったこと、どちらも一頭のビーグルがいたことが私自

身を変えることになった。

生まれたときから犬と育った私にとって犬との生活はとても普通のもので、働き出したら犬と暮らしたいと思っていて、初めて、自分の犬として引き取ったのがビーグルのごえもんだった。最初から、いろいろな問題を抱えた仔犬だった。

・食事へドライフードには見向きもせず、食欲も不安定

・突発性の攻撃行動へ寝ていたかと思うと急に飛び掛かり咬み付く

このような問題から始まり、二歳半には皮膚炎を発症。アトピー性皮膚炎と診断され、ステロイドの投薬が始まった。通常経口投薬で対応していたが、悪化すると、皮下注射。対症療法でしかないため、一時改善が見られても、悪化と改善の繰り返しで七歳で甲状腺機能低下症と診断されるまで、ステロイドの投薬は続い

た。甲状腺機能低下症と診断されてからは、ホルモン剤の投薬で皮膚の状態は改善していったが、十歳の冬に悪性リンパ腫を発症し、化学療法を開始した。週に最低二回、治療と検査のための通院で、一か月もたつと、病院に行くのを非常におびえるようになり、精神的なサポートを期待して、友人の獣医師にホメオパシーの動物病院を紹介してもらった。

その病院に通うようになってからは驚くことばかりだった。嫌がっていた通院も嫌がらなくなり、どんなにトレーニングをしても治らなかつた突発性の攻撃行動がほとんど出なくなり、化学療法の副作用がまったくといっていいほど出ず、見た目も病犬には見えない状態になった。それから、自分でもという思いが出てきて、由井先生の動物のセミナーなどにも参加し、書

籍、キット、その他のレメディイを買って揃え、独学を始めた。彼は、その後一年九か月がんびり他界したが、弟分の二頭がいたので、その犬たちにはホメオパシーを続けていたが、独学では限度があり、理論も理解しなければという思いが強くなり、三年ほど前から、入学を考え始めていた。トレーナーをしていても、治らない問題を持つ犬が多く見られるようになり、ごえもんの攻撃行動がレメディイをとることにより、減っていったことから見ても、ただトレーニングをして修正をしていくのではなく、違うアプローチも必要なのではないかとも考え始めた。違うアプローチとして、ホメオパシーはとても大きなポテンシャルを持っているのではないかと。ちょうど、そのころにRAHからChhomに変更になることを知り、一つの方法だけな

く、幅の広い柔軟な対応をすることで、本来の姿に戻していくための知識を学べると思っている、入学を決意した。

入学してからは、時間的な余裕は一切なくなりましたが、独学の時にはあやふやだった理論や考えなど少しずつだが理解し、整理されていっているとと思う。今年さらさら、目標だった動物コースも選択しあつという間の一年を過ごしている。

動物たちは本当に素直に反応してくれる。あるものを自然に受け入れるからなんだと思う。人のために作り出されたホメオパシーだが、本質として、命に対するものだからこそ、人、動物、植物を分け隔てなく、同じ恩恵を受け取れる数少ないものなんだろう。

四年間という時間でできるだけ多く学び、その後も学びながら、特に人が人の社会に連れ込んでしまった動物たち

が少しでも本来の姿で生きられるような手伝いができればと思っている。

.....

◆森林浴のような

学びの舎

Chhom 1期 M・Aさん

祖父が白血病になり余命三ヶ月とお医者さんに告げられて、祖父自身が延命治療も入院も強い思いで希望しなかったため、自宅で過ごすことになりました。次第に体力も衰えていく中で何か自分のできないかと思いつき、ホメオパシーを祖父に使い始めました。



ホメオパスの健康相談会にも行き、レメディーキットからセルフケアもして過ごしました。治すというよりも、ちよつとずつ近づいてくる「死」の時まで少しでも楽に過ごせるようにと、ホメオパシーと

マッサージを日常に加え過ごしました。痛み等が出るたびにホメオパシーでケアできる

ものがあり、本人だけでなく看病する側もレメディーをとりに、看病する側もケアされていき、お陰様で自分自身の腰痛の問題も出ずに楽に看病することができました。いつもと変わらない朝を迎えたある日、とうとう祖父の死が来てしまいました。わかっていれば、洗濯機や掃除機の音ももう少し静かにしていたのに……

その日は、私の誕生日でした。いまだに、お墓に彫ってある日付を見るたびに、うれしい日なのか悲しい日なのか分からなくなります。この祖父の

死を見ていて、改めて「ホメオパシーの素晴らしさ」を強く思い、もっと深く学びたくて夢でもあった美大に入学が決まっていたのですが、美大ではなくChhomへの入学を決めました。

由井学長の初日の講義は、なぜか涙が止まりませんでした。午前も午後もいっぱい泣いていた記憶があります。人前で泣くなんて、初めての経験でしたが……知りたかった事を勉強できるんだ、という思いと自分が変わるかも！という希望の思いがあふれすぎて感動しっぱなしでした。それは、今でも続いております。ホメオパシーの勉強以外に医者さんの講義もあり、内容が盛りだくさんで六時間頭がフル回転ですが、授業のある日は、苦手な朝も辛くありません。

一時間半かかる通学。苦手な雨の日、生理前の頭痛の日

は、大変つらいのですが、学校に入ると、スーと消えます。都会なのに校内の空気だけがスーとしていて森林浴しているみたいに気持ちがいいのです。小さい頃から、学校というものから早く出たくてウズウズする方でしたが、Chhomでは、のんびり教科書を片付けて、だから長居したくなります。朝、お掃除をしているスタッフの方もいつもニコニコで気持ちがいいです。学校から少し遠い所もニコニコしてお掃除していただきます☆RAH・Chhomのスタッフの方々は、みんな一生懸命楽しそうにお仕事をしています、私もこんな職場に憧れます。みんなそれぞれに个性的で、みんな大好きです。

.....

◆ 人生を変えたオープンキャンパス

Chhom 1期 N・Sさん

近所の方がこういう療法があるよと教えてくれたのが僕とホメオパシーとの出会いでした。

母親はリウマチを患っており、良いと言われるさまざまな療法を試したのですが結果はどれも改善には向かいませんでした。母は縁あって、ホメオパシー療法を始めたところ、身体中から一気に膿がでてきました。最初は本当に大丈夫かなと半信半疑でしたが、膿がどんどん出ているのに母



親がどんどん元気になっていくのでそのまま見守ることにしました。その後一カ月くらい経過して膿が出終わった後、家族全員驚愕！リウマチが治っていたんです！何をやってもよくなるなかったリウマチが治っていたんです！本当にびっくりしました！

その母親の姿をみてこれは本当に人のためになれる仕事だと感じていた時に、Chhomができることを知り入学を決めました。

学校に入学してからは本当に充実した時間を過ごすことができていて、講義内容などもChhom以外では絶対学べない内容だと思っっています。特に由井先生からホメオパシーを直接学べることにとても感謝しています。学校のスタッフの方たちもとても優しくサポートしてくださり、海外講師の授業を生中継で受講できる設備なども揃っ

て、ホメオパシーが学べる環境のすべてがこの学校にはあると思います。Chhom入学を考えている方にはぜひ一度オープンキャンパスに来ていただければと思います！

僕はオープンキャンパスに行ってから人生が変わりました！

.....

◆ Chhomにはたくさんさんの勇気と真実があります！

Chhom 1期 M・Sさん

妊娠・出産・母乳育児という自然でありながら神秘的な



体験を通して、ホメオパシーと出会いました。

それから数年…。冬のある夜、頭をひどく打ち付けた私は、「いつ死ぬか判らない。後悔したくない！私の本当にやりたい事は何なんだろう？」と自問自答しました。その答えがChhomへの入学だったのです。

思い切って打ち明けたわたしに周囲は誰ひとり反対せず、私だけが戸惑いながら入学願書を提出したのが昨日のことのようです。

Chhomにはたくさんさんの

勇気と真実があります。由井先生の講義は楽しくてあつという間に一日が終わります！ノートを取るのに必死ですが、授業のたびに、学ぶこと、知ることの大切さを痛感し、寅子先生の大きくて深い愛に満たされております。そして、なんと魅力的な講師陣！こんな贅沢な学校が存在するのか！

と毎回ワクワクしながら通っています。スタッフの方々も个性的で素敵なお方ばかり。ここの話、美男美女が多いですよ！

ホメオパシーの実力に脅威を感じる方々もいらつしやると思いますが、本当に自分を大切にするなら、まず真実を受け入れてみる勇気が必要かと思えます。ここ、Chhomにはたくさんさんの勇気と真実があります。

最後に、私を深い愛で支えてくれる夫、留守を守ってくれている母、家族、応援してくれている友人たち、ホメオパシーへと導いてくれた愛する子どもたちに感謝の言葉を述べさせていただきます。いつもどうもありがとうございます！みなのおかげで頑張れます！

.....

◆大いなるものにゆだねる、すべてはつながっているという感覚

Chhom 3期 Y・Aさん

私がホメオパシーに出合ったきっかけは「うつと不眠」でした。精神科の薬を飲んでいたら、叔母が「ホメオパシー療法」を勧めてくれました。最初はクライアントとして半信半疑でホメオパスの相談会を受けましたが、ホメオパシーによって体も心も魂も助けてもらったので、この素晴らしいことを不思議なホメオパシーをもっと知りたいと思つて入学に至りました。

振り返ると、以前の私は自己否定と罪悪感がすごく強かったです。悲しみと絶望に覆われていました。自分を大切にすることが分からず、ただただ頑張っていました。今は自分を大切にすることや、心と体が繋がっている



ことが分かります。自分の体を信頼する感覚、魂と繋がっていることの大切さ、大いなるものにゆだねる感覚、すべては繋がっているという感覚も分かってきました。生きるのが楽になりました。今では、うつという病気をもらったことも、苦しかった出来事も必然だったと感じ、すべてに感謝しています。

私の周りでは、夫、母、義母、愛犬、愛犬の訓練士さん、友人がホメオパシーを使うようになり、レメディーを使うことにより、心身のバランスを取り戻す様子に感激しています。学ぶにつれて、ホメオパシーの奥深さを感じています。フラワーエッセンス

も大好きになりました。

学校はとっても楽しくて、楽しい楽しいと過ごしているうちに本当にあつという間に過ぎていきました。由井先生は講義の度に、その時々のおりのままの姿で惜しみなく教えてくださいます。中継のモニターを通してあふれる愛が伝わってきました。笑話があり、時には涙し、生身の姿で教えてくださる由井先生が大好きです。他にも素敵な先生方と友達に出会いました。私はホメオパシーを知りたくて入学しましたが、今では、ホメオパスになってホメオパシーを必要としている人に届きたい！と強く思っています。この学校案内をご覧の皆さん。ホメオパシーに出合えてよかったですね。もし、学びたいという気持ちが少しでもありましたら、ご自身の気持ちに正直に従って学校に飛び込んでみる事をお勧めします。

それぞれの命を、ますますイキキと生きられますことを願っています。」

◆薬よりももっと必要な免疫力を高める治療がここにある

Chhom 3期 Yさん

生の治療姿勢に凄く愛情がもっていて、その診療している姿に感動して、すぐそこで入学を決めました。

西洋医学に携わっていたからこそ、西洋医学の限界は解つたものだから、ぜひそれを超えた、画期的な次世代の治療という事でホメオパシーを真剣におススメしたいと思います。

脳外科医をやつて二十年たちました。西洋医学に二十年携わつた結果、西洋医学の限界を感じまして、第二第三の治療を探していたところ、運よく由井先生のホメオパシーを知りまして、興味をもちまして、由井先生の講演会に行つたのが(入学の)きっかけです。その時は鬱病の講演会をやつていたのですが、特に精神疾患についての講演会だったので、すごい治療効果があがつているという事に凄くびっくりした事と、由井先

今でも診療している中で、どうしても薬を必要としている方もいらっしゃるのですが、薬よりもっと必要な免疫力を高める治療がまさにここにあり、という事を大にしたいと思つています。ぜひ、皆さんも由井先生の声を聴きに来ていただいて、情熱あふれる愛情深い講義を聴けば、ホメオパシーに興味をもたれると思つています。どうぞ私たちと一緒に学びましょう。



◆自分と向き合い、大事な人をもっと深く愛する

CHhom 2期K・Nさん

CHhomでの四年間はホメオパシーの学びはもちろん素晴らしいのですが、その学びを通して自分自身を見つめる機会がたくさんあったことがとても良かったと思っています。同期の仲間が自分自身を見つめ、それをシェアできる、色んな場面で支えてもらうこともできました。

私は二児の子を持つ母親です。CHhomに入る前は二人とも不登校になったこともありましたが、子育てがづらい時期がありました。いろいろな

固定概念や価値観が強くあると、こうでなければと思いついて、その不安から子どもたちをコントロールしたくなったり、インナーチャイルドが癒されていないことで、その癒されていない思いから、出来事を見てしまいます。そのせいで、同じようなパターンの苦しみや悲しみを感じることも、よくありました。

CHhomで学ぶ中で、本来のその人のものではない価値観や信念に縛られ、そこから心や体を病むケースをたくさん学び、そこから私自身の価値感や信念にも向き合い、自分を見つめ、そこを癒していくことで、生きていくのが少しずつ楽になっていきました。今では私は私らしく、子どもたちは子どもたちらしく生きて欲しいと心から思えるようになりました。親子間のコミュニケーションも心地よく、本音で色んなことを話せ、

子どもの気持ちを聞きながら、私も自分の本音を話せる関係が築けて、とても幸せです。

CHhomでの四年間は私にとって本来の自分を取り戻すために、本当に生きるとは？そんなことを教えてもらえ、自分と向き合い、もう一度、本当の意味で自分を愛し、大事な人をもっと深いところで愛する、そんなことを学ぶことができた学校生活でした。

◆生きることが楽しくなる

CHhom 2期S・Tさん

三食きちんと食べて、きちんと寝てという生活を送っているのに体が不調だ、というお友達の声が多く、自分自身も花粉症や理由の分からない慢性疲労になっていて健康に

関して疑問を持つようになりましたが、その疑問に対して特に行動を起こしていませんでした。

子どもの乳児湿疹がひどくなり、病院を受診するとステロイド軟膏を処方されました。生まれたての赤ちゃんにそういうものを使っていたのか、健康に対して人任せでいいのかと改めて考え、色々と探していくうちに偶然ホメオパシーをやっている人との出会いがありました。自分の免疫力を高めていく療法だと教えて頂き、実際に使ってみて、子どもの皮膚の状態がどんどん良くなっていったので、自分の力で治るって素晴らしいな、と思いました。

もっと色々知りたいなーと思いついて、CHhomに入学を決めました。まさにその時、ホメオパシーバッシングの真っ最中だったのですが、人から聞いた噂ではなく、自分自身

で見聞きしたものがすべてだと思いついて、迷いなく入学試験を受けました。

四年間色々勉強できて本当に楽しかったです。自分の体を今まで人任せにしてきたなと思いついて、自分の心身のことは、自分が本当は一番分かっている。そのことをもつと実感出来て本当によかったと思います。これからまだまだ勉強していきます。

由井先生は、よく「自分を苦しめているのは自分自身だよ、自分が作った道徳なんだよ」とお話ししていらつしやいます。入学当時の私は、色々どがなじがらめで、そんな自



分自身になかなか気が付けないくって、「そんなこと言っても自分がやらなきゃ誰もやってくれない」と思いながら頑張っていました。先生に「繰り返し繰り返し、自分を大事に、自分にやさしく。道徳なんて気にしなくていいんだよ」と教えて頂く中で、その言葉がだんだん自分の中にスーと入ってくるようになり、ある時、こんな自分でもいいんだ、自分分は生かされているんだ、と、ふつと自分の中に落ちた瞬間がありました。

そこから本当に楽になってきて、ちよつとイラツとすることがあつても、これで大丈夫なんだ、起つたことは起つたことでもいいんだ、と受け止められるようになったので、すぐく生きやすくなりました。また支えてくれる家族に感謝して、家族に対して自分のできることをやっていこうという糧にもなりました。

◆ホメオパシーの学びを通して、私は「私」を取り戻すことができた

RAH 11期生

日本ホメオパシーセンター札幌本部

永桶房代 JPHMA 認定ホメオパス

私とホメオパシーとの出会いは子どものアトピーによって導かれたものですが、ホメオパシー療法を学ぶことになったのはとても不思議な流れでした。

その当時の私は、「私」というものを忘れかけてしまい「自分は何がしたいのか」「なぜ生きていくのだろうか」「子どもたちをどう愛してやればいいのか」答えの見えない、暗い



渦の中にいました。ホメオパシーと出会って半年、「私は私のためにホメオパシーを学びたい」と久しぶりに自分の心の声が聞こえました。この湧き上がる感情を大切にしようと思い、RAHへの入学を決意したのです。

この時、「私はこれがやりたい」と何の恐れも抵抗も心にブレキを感じることはなく、いつもなら新しいことをはじめるとき、何かを選択し進まなくてはいけないときには、過去の失敗や恐怖がその先へ進もうとすることを阻むことがあるのに、ただ道が開けているのだとホメオパシーの渦へ引き込まれることに身をまかせていきました。

ホメオパシーの学びを通して、私は「私」を取り戻すことができたのです。この四年間の学びは一言では言い尽くせないほど深いものでした。オルガノンと慢性病論に基づ

くハーネマンの教えやマヤズム理論、医原病など、このRAHでしか学べないものはさることながら、ホメオパスになる者は魂の学びをせよというインナーチャイルドの授業は「生きる意味」を一人の人間として突きつけられます。

すべての原因は自分の中にあります。そして、解決する鍵も自分の中にしかないのです。だからこそ、今、生かされている「私」を大切にしなければいけないのです。「私」の声に耳を傾け、「私」を癒し続けていくことが必要なのだと何度も涙を流しながら学んだ四年間でした。

私は二人の男の子の普通の母親です。子どもは親である私のロボットではないし、私の夢をかなえてくれる道具でもありません。「自分の子どもにはこう生きてほしい！」と思うことがあるならば、まずは母親である私がそう変わる

よう努力をするのが私の子育てです。だって、これから先の人生で、今日が一番若い日なのだから、人間、いつだって学ぶこともできるし、変わることもできるはず。

自分の子どもが光輝くようになってほしいと思うのなら、まずは自分が、母親の貴方がそう変わるよう一歩を踏み出しませんか？ぜひ、一緒にホメオパシーを学びましょう！

.....

◆病気にするの治すのも自分自身

RAH 6期生

日本ホメオパシーセンター青森弘前

小林由希子 JPHMA 認定ホメオパス

入学のきっかけは、自分が本当にしたいことはどういうことなのか？ということを探していた中で、ちよつどよい



葛藤が起こったりしますが、変わっていくことを恐れない、変わっていくことを受け入れられる人間でありたいと思います。

タイミングで目の前に現れたといった感じです。病気にしてしまうのも自分だし、治していく力も自分の中にあるという言葉とホメオパシーの考え方が、自分の中にすっと入ってきました。

クライアントを治癒に導く最善の方法は何か？ハーネマンが真に伝えようとしていたことは何なのかということを探求している学校で、自ら真実を伝えよう、正直に生きようとする由井学長の姿勢や葛藤に毎回とても感銘を受けました。真実を探していく中で、それまでよいと思ってきたことが実はそうでなかったり、自分の中の価値観との

の出会いも私の宝物となっています。苦しい中でも支えられましたし、それぞれに個性的で、充足していて、集まるととてもパワフルで楽しかったです。

.....

◆ホメオパシーを学ぶことで人生が変わっていく

RAH 8期生

日本ホメオパシーセンター仙台長命ヶ丘

高橋阿津子 JPHMA 認定ホメオパス

学生期間中は、身の回りにいろいろなことが起こりました。人生の回転の仕方が早くなつたような感じでした。その中で自分がどう受けとめるか、どう対応するのかということを一つひとつ意識しながらの四年間を過ごし、自分の一面を知ることができました。以前よりずっと生きやすく、自分を楽にしていけないのは自分だったんだな...と実感しました。一緒に学んだ友人たちと

ホメオパシーを知る以前から、食療法などを通して、人の健康相談を行っていました。自分がんになって初めて食療法だけでは不足していると気づき、何か別の療法を探していた時にホメオパシーに出会いました。友人からホメオパシーのことを聞き、ホメオパシーの健

康相談会を体験し、由井先生の学校説明会に行った際に、「これだ、この人だ」というような運命的な出会いの感覚があり、RAHで学ぶことを決めました。

RAHに入學した際には、カリキュラムがとても充実し、豊富で、海外講師の授業まであり、学んで吸収していくのが大変でした。特に一、二年次はついていくのが精一杯でしたが、授業内容は素晴らしいと思っていました。

授業では人生の勉強をしているような気がしていました。学びがたくさんあり、自分がなぜ、病気になったのか、なぜ、こだわりがあるのかまで、授業を受ける度に一つずつ四年間かけて理解していったという感じです。卒業後は、東北の拠点仙台で、分校運営、講演会等を行いながら、健康相談会を実施しています。

健康相談会には月四〇人程度来られ、青森や秋田、山形、福島などからも来られています。日常の活動で、ホメオパシーをいろいろな方が知りたい、学びたいと思っていることを感じています。遠くから、講演会等に来られる方も多く、身近にセルフケアができるような環境を作ってあげられたらと思っています。

ホメオパシーを知ることによって、ホメオパシーを自分の人生、生活に取り入れられたら、いろいろなものが変わっていくと思います。ホメオパシーを学ぶことで人生が変わっていくと言つて過言ではないと思います。





●この四年間たくさんさんの気づきと愛をありがとうございました。この四年間で人生で今までになくらい成長をさせてもらいました。人生でこんなに楽しく勉強したのもこの四年間以外ありません。生きるのが辛いものではなく、楽しいものになりました。これからも他の人に役に立てるようにホメオパシーの勉強を続けていきたいと思っています。

●まず四年間通えて学んできた自分をほめてあげたい。このCHhomで学んできたことはホメオパシーだけでなく「生きていく」という事を学んだと思う。その中で自分の人生が変わっていったものは、インチャに取り

組んでいけたことだと思っている。未だ解決していないインチャは多いけど、こういう内なる感情があること。それを癒す手法について学んでこれた事。取り組みはCHhomの素晴らしいさのひとつだと思ふ。これからも癒やしていきたいと思う。この学校で学んだ事、知識を人に伝えていきたい。又、魂のホメオパスに近づいていけるようにこれからも学びを続けていきたいと思う。とらこ先生をはじめ、先生の方々スタッフの方々、同期、学生の方々家族全てに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

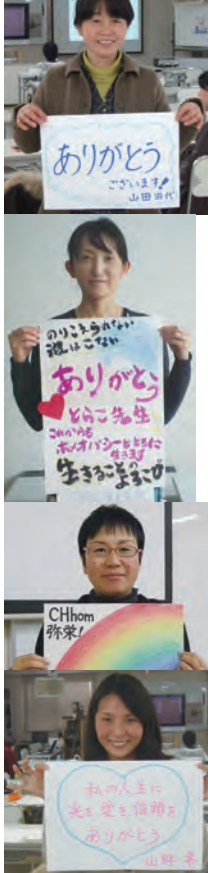
●私は四年間がなかったら、自分は今、生きていなかったと思えます。四年前、とても無理な状況であのタイミングで無理矢理にでも入学した事を、今朝思い出しました。自分の人生が終わる前にどうしても本当の事が知りたい感情が溢れ入学しましたが、その時知





りたかったのはホメオパシーのレメデーのことや体、心のことだと考えていました。講義には、生きる勉強や自分と向き合うことがいっぱいあって、途中逃げだしたくなりましたが、いつのまにか自殺願望がポーンとどこかへ行き、いつのまにか生きる覚悟を持てるようになりました。生きる！と決めたからは、色々な出来事がおこりましたが、講義で「神様からのおためしがくる」と習っていたので、四年前の自分とは違う人みたいに変えただけで心が楽な状態で乗り越えられたことが、いくつもありました。この4年間で乗り越えた壁は、とても大きな事だらけでしたが、今ほとても宝物に思える自分がいて、こんな日が来るとは想像もしていませんでした。思いきり自分の人生を生きて、一生勉強できるモノに出会えた私はすごく幸せものだと思います。本当にありがとうございます。これ

からもよろしくお願ひします。
 ●とにかくあつという間の四年間でした。初日の授業の時、わからないことばかりで、わからなくても続けることが重要と言われたのが、今でも耳に残っています。その時には、本当にそれで良いのかと思っただけ、だんだんと理解していくことが出来ました。頭の中に情報として入るのではなく、自分自身で噛み砕いて自分のものにするためには、その時習ったことだけでなく、多くのことがらが必要で、それを体得するためには、わからないこともそのまま受け入れる必要があったんだと、とにかく多くのことを学んだ四年間でした。多くの仲間にも出会えました。まちがいなくかけがえのない四年間です。学長をはじめ多くの先生方、ありがとうございます。スツッフのみなさんありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



Q & A

※回答(A)はChhom事務局より

入学前の皆様からのご質問に
Chhom事務局よりお答えします

Q:日本にはホメオパシーの学校がいくつかありますが、どの学校を選択してもプロのホメオパスになれますか

A:海外では正式にホメオパシーの学校を運営するためには日数ならびに時間数が定められています。日本においては、残念ながらパートタイム科で三年間のところ、通信教育が中心で修了できるところ、極端な場合、一年間のコースもあります。セルフケアならそれでも良いでしょう。しかし、プロフェッショナルホメオパスになるためには、パートタイム科で四年間かけてハーネマンの基礎から実践まで、しっかりと学ぶことが必要です。年数だけではなく、プロになるためには十分な時間数も必要です。Chhomでは、国際標準以上に教える内容、時間を充実させ、真のプロフェッショナルホメオパスを育成しています。

Q:ホメオパスの賠償責任保険と

はどのようなものですか

A:ホメオパスがその国で職業として確立しているかどうかの判断基準は、ホメオパスの職業保険が成立しているかどうかにあります。もちろん、ホメオパス認定試験が国家試験となり、ホメオパスという職業が国家資格となつて完成するのですが、そのためには、その下地がなければなりません。それがホメオパスの職業保険です。この職業保険は、一定の実力を持っているホメオパスに与えられるべきものです。国家資格をとらなければ職業として確立しないかというところについてはありません。国家資格となる前に、まずその国において職業認定機関(職業団体)が確立し、やがて職業として確立するのが通常です。職業として確立したかどうかは、職業団体において職業保険が成立しているかどうかで判断することができます。というところです。

そもそも、職業として確立する

ためには何かを考慮してみましよう。まず第一にその仕事に専門性がなければなりません。これは同時に然るべき専門教育を行う教育機関が必要であることを意味します。第二にその仕事が国民の利益に供するものでなくてはなりません。療法関係であれば、国民の健康と福祉を増大させるものでなければなりません。第三にその専門性に関して第三機関がその知識と技能が客観的に試験されるシステムがなければなりません。すなわち、プロフェッショナルかどうかを試験し認定する信頼できる第三機関と、試験に合格した者がたけがプロフェッショナルとしてその業を用いて職業とすることのできる制度が必要なのです。以上は、職業として確立するための全世界共通の職業理念です。

ホメオパスの職業保険は二〇〇五年十月に成立しました。八年間に及ぶ継続的なJPHMAの活動実績がやっと認められたのです。海外では職業保険が確立しているかどうかでその職業をやっているかどうかを判断します。約十年の歳月をかけてやっとヨーロッパのホメオパシー先進国に肩を並べることができました。

ホメオパスは、プロフェッショ

ナルホメオパスを認定する職業団体(プロ認定機関)に認定されることで、はじめてプロとしての活動ができます。ただし、この職業団体は職業保険をもっていなければなりません。なぜなら、職業保険をもつということは、その職業団体が社会的にも能力的にも認められていることを意味すると同時に、万一、その職業を行うなかで問題が生じてしまった場合でも、責任をもって対応する体制が整っているということを意味するからです。

現に、ICH(ホメオパシー国際評議会)においても「ホメオパシーを職業として行う者は、ホメオパスの職業保険のある協会(ホメオパス職業団体)の認定を受け属するべきである。それが、プロフェッショナルホメオパスの定義であり義務である」としています。

Q:学生は保険に入らなくて良いですか

A:いいえ。学生に関しては、学生向けのホメオパス育成の保険があります。Chhomの四年制通学コースでは四年次に、JPHMAの認定試験を受けるために、ケーステイクとによって自分でクライアントを選択し、五

つの改善ケースを提出するという課題が設けられています。そのため、各自が、JPHMAのホメオパス育成の保険に加入(JPHMA 専門会員に加入すると、JPHMAのホメオパス育成の保険に自動加入となります)していただくことが、ケーステイクを行う上での前提であり、必須条件となります。なお、Chhomでは、一年次からJPHMA 専門会員に加入することを推奨しています。

Q:Chhomのカリキュラムでは解剖・生理・病理については、どのように組まれているのでしょうか

A:現代医学の基礎を身につけることは、とても大切なことであると考えています。入学前に学ばれている方もいますし、全く学んでこなかった方もいますのでChhomでは、現代医学の解剖生理、臨床病理、救急医学をしっかり教えます。解剖・生理・病理については、酒向医学博士、増田講師が、救急医学については高野医師が担当します。現代医学の解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となります

ので、必須授業としています。

また、現代医学の解剖生理だけでなく、ホメオパシー的観点から見た解剖生理を増田講師が教え、ホメオパシー的な病理生理は由井学長が教えます。

ホメオパシー統合医療のカリキュラムは、Chhomでしか学ぶことができない授業ですし、それは、海外の学校でも行われていないChhomオリジナルともいえます。ホメオパシー療法を行っていく上で、本当に生きた解剖・生理・病理の基礎を理解するために、画期的なカリキュラムと言えます。

Q:「ホメオパシー療法は、現代医学を否定し、患者を病院から遠ざける」と言われていますが

A:「このような指摘は一連の新聞報道によるもので、正確な情報が伝えられずに多くの人々に誤解を与えています。

事実はJPHMAでは現代医療を否定しておらず、現代医療と協力してやっていくという立場をとっており、協会会員に周知徹底しています。現に、JPHMA認定（プロフェッショナル）ホメオパス倫理規程で下記のように定めています。

プロフェッショナルホメオパス

倫理規程第三条三項より「本協会認定ホメオパスは、クライアントが病院での検査、診察等（以下、検診という）を受けることに否定的であってはならない。病院での検診が必要と判断される場合は、速やかにその旨をクライアントに伝えなければならない。なお、検診を受けるか否かの最終判断は、あくまでもクライアントが行うものであり、本協会認定ホメオパスが強制することはあつてはならない。ただし、慢性疾患のクライアントに対しては、病院での定期的な検診をお勧めしております。

Q:「ホメオパシーと薬事法との関係を教えてください」

A:「薬事法は薬局や医療品、医療用具等の基準・検定・取り扱いについての決まりごとです。ホメオパシー療法において用いられるレメディは砂糖玉やお酒（スピリッツ）であり、薬ではありませんから基本的に薬事法の適用外となります。これは、成分を調べても原物質が検出されないことから明白です。また、商品と関係しない形で、すなわち純粋な学問としてのホメオパシー療法やレメディの効果を伝えることも

問題ありません。

しかし、薬事法広告規制の関係で、薬ではない商品（販売用あるいは贈呈用）としてのレメディの効果効能をうたったり暗示することはできません。このためホメオパスがクライアントに直接レメディを販売あるいは贈呈することはできません。ホメオパスができることはレメディの適用書をクライアントにお渡しするところまでで、その後はクライアントが自ら選択したレメディ販売店から直接レメディを購入していただく形になります。

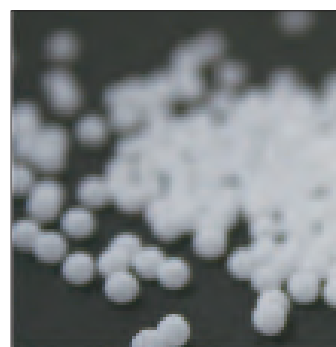
Q:「ホメオパシー療法は医師しかできないと聞きましたが、本当ですか」

A:「いいえ、違います。医師法により、ホメオパシー療法は医師しかできないと言いますが、それは正しくありません。医師法とは現代医学による医療を行うことができるのは医師だけであるという法律です。現代医療という学問を専門に学びその知識と技能を身につけた医師だけがそれを生業とすることができるのは当たり前です。そして現代医療が国家資格である以上、資格を持たない者がこれを生業とすることができない

のは法律的に当たり前なのです（国が医師という職業を保証している以上当たり前なのです）。

しかし現代医療は数ある療法の中の一つに過ぎません。そしてたくさんある療法はそれぞれの専門家が行うべきなのです。現代医療は大切な療法であり、なくてはならないものです。そしてその業を修めた医師ももちろん必要であり、なくてはならない職業です。しかし、現代医療以外の療法も医師が行わなければならないというのは、正しくありません。医師法にはそのようなことは書かれていませんし、倫理的にも受け入れがたい考えです。確かに医師法の中には、医師は鍼灸治療を行うことができるかと書かれています。しかし本来鍼灸治療は鍼灸の学問を修め、その知識と技能が試験され合格した者だけに鍼灸治療を行う資格が与えられるべきであり、医師というだけで、鍼灸治療を行う資格があるという考えは憲法上問題があります。漢方も同様のことが言えるでしょう。

ホメオパシーと現代医学とは根底となる原理が全く異なる医学です。そのため、ホメオパシーを専門的に学んだ者（専門家）が、ホメオパシー療法を行



うことが必要条件だと考えています。逆に、現代医学の医師だからといって、ホメオパシーを十分に学ばずに、ホメオパシー療法を安易に行えるわけではありません。JPHMAでは、ホメオパシーに関しては、現代医学とは別のホメオパシー領域の専門家が必要と考えています。そして、ホメオパシーの専門知識、経験、技術が一定レベルに達した者に対して、専門資格を与えることが必要と考えています。現在、JPHMAでは、欧米の基準をふまえ、水準以上の認定レベルに達した者に対して、プロフェッショナルホメオパスの認定資格を与え、ホメオパシー職業保険を適用しています。

Q:「ホメオパスとしてホメオパシー療法を行うことは、医師法に抵触するのではないかと懸念する人もいるかと思いますが」

A…以前にも同じ質問がありました。

- ①ホメオパシーは医療である
- ②医療は医師が行うものである
- ③それゆえホメオパシーは医師しか行っていない

という一見したところ矛盾のない三段論法を用いて、医師だけがホメオパシーを行ってはならないという結論を導き、あたかも日本において、医師法と言う法律に対して、不法行為がなされているかのような印象がもたれています。これが正しくありません。ホメオパシーは「医療行為」ではありません。医療行為とは、聴診器をあてる、薬を処方する、病名を診断するなど、現代医学に基づく治療行為をすることです。そして、その医療行為に関しては、「医師法」で定められる医師という職業に就く者だけが行うことができるということ。すなわち医師とは、現代医学という学問を修得した現代医療のプロフェッショナルです。

また、人々の健康と福祉に寄与するがぎり、「現代医療」という治療法以外の療法を、そのプロフェッショナルと認められる者が行うことは、日本国憲法の「職業選択の自由」において保証されており、事実、社会的に認められて

います。このことは、もし医師法という医療があらゆる治療法を指すとなれば憲法に抵触する無効な法律となり矛盾することからも明白です。

ホメオパシーは医学ですが、これは「ホメオパシー医学」であり、「アロパシー医学（現代医学）」とは異なる学問体系です。ホメオパシー療法を職業とすることができず、ホメオパシー医学を修得した者で、すなわちプロフェッショナルホメオパスであり、医師ではありません。

プロフェッショナルホメオパスは、JPHMAの倫理規程に基づき、バイタルフォースの滞りに対してホメオパシー療法を行っています。クライアントから病院での検査・治療の必要性を確認されたとき、それ以前に検査の必要を感じたときは、まず検査をするよう指示します。また、これは医師の仕事であるから病院に行くようクライアントに伝えます。もちろん、検査は医師の仕事だからです。現代医学は、現代医学のプロフェッショナルである医師が行うように、現代医学以外の療法はもちろんそれぞれの療法の専門家（プロフェッショナル）が行うべきと考えます。

CHhom 入学までの流れ

- 資料取り寄せ、オープンキャンパス等参加
- 入学申し込み

①入学願書

②「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」への同意書

③eラーニングコース受講誓約書

④入学試験申込み等提出

←

入学願書、同意書を拝見後、CHhomより入学試験のご案内をさせていただきます。

- 入学試験（筆記試験（一般教養＋論文）＋面談）

CHhom 各校にて受験

←

CHhomより入学試験合格のご連絡をいたします（結果通知のみ）。

- 入学に関する書類の送付

CHhomより「概要書面」、「授業料請求書」郵送

- 入学金＋授業料お振り込み

お振り込み確認後、CHhomより「お振込確認書」、「契約書面」をお送りします。

※以降は講演会や書籍購入が学生割引適用となります。

←

初回スクーリングのおよそ一週間～二週間前に「初回スクーリング案内」をお送りします。

入学までに書籍やセルフケアでホメオパシーの勉強をしておいてください。

- 授業スタート

四月開講 統合医療コース、ホメオパシー専科（通学）

六月開講 ホメオパシー専科 eラーニングコース

プロフェッショナルホメオパスへの道が始まります。

四年間がんばってください

ご案内

ホメオパシーを学ぶためのさまざまなコースをご用意して
皆さまのご入学をお待ちしております

● CHhom ファミリーホメオパス 通学コース（二年制）

自分と家族のために日常に起こるさまざまな急性の症状や心の問題にレ
メディーキットを的確に使いこなして対処できるようにホメオパシーを
学びます。

※五月開講予定

● CHhom ファミリーホメオパス eラーニングコース（一年制）

ファミリーホメオパスコースを自宅に居ながら都合の良い時間に学べます。

※六月開講予定

● CHhom アニマルホメオパス eラーニングコース（二年制）*

獣医学の知識のない学生でも無理なく学ぶことができますよう、
解剖・生理・病理の時間を十分にとっています。授業では現役の
アニマルホメオパスでもある講師陣より、数多くの動物のケースを
学ぶことができます。

● CHhom フラワーエッセンス療法士コース*

レメディーとともに心を救うフラワーエッセンスを

その元となる花からフラワーエッセンスの活用法までを学ぶコースです。

● CHhom ホメオパシク・ハーブ療法士コース*

● CHhom インナーチャイルドセラピスト養成コース（二年制）

● CHhom インナーチャイルドセラピスト養成

eラーニングコース（二年制）

*のコースは、ホメオパシー統合医療あるいは、
ホメオパシー専科コースに入学することが前提条件となります。

ホメオパシーの恩恵がすべてに
降り注がんことを！
万物生命、その存在自体に
感謝し、命そのものを
生きられんことを！

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhom 学長

由井実子

ホメオパシー統合医療専門校
カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー
CHhom 学校案内
4年制プロフェッショナルコース

-  **CHhom** 統 4月開講 ホメオパシー統合医療コース（通学）
-  **CHhom** 専 4月開講 ホメオパシー専科コース（通学）
-  **CHhom** 専e 6月開講 ホメオパシー専科 e ラーニングコース



【東京校】 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー 事務局
〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-2-3 矢藤第3ビル TEL: 03-5797-3250 / FAX: 03-5797-3251
E-mail: CHhom@homoeopathy.ac URL: <http://www.homoeopathy.ac>

【札幌校】 〒064-0825 札幌市中央区北5条西27-2-6
翔栄ビル2階 TEL: 011-633-0577 / FAX: 011-633-0578

【名古屋校】 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5丁目21-8
船入ビル6階 TEL: 052-533-0171 / FAX: 052-533-0172

【大阪校】 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-22-22
盟友ビル3F TEL: 06-6368-5355 / FAX: 06-6368-5354

【福岡校】 〒810-0022 福岡市中央区薬院1-16-5
松井ビル701 TEL: 092-738-6844 / FAX: 092-738-6845